茨木の教育　平成 28 年度（2016 年度）

―　目次　―

Ⅰ．茨木市の教育行財政

１．教育委員会
（１）教育委員会の構成
（２）教育委員会事務局等の組織
（３）教育に関する施政方針と事業概要
２．学校園施設
（１） 学校園施設状況
【幼稚園・小学校・中学校】

Ⅱ．学校園教育

１．学校園運営と教職員の意識改革について
（１）茨木っ子ジャンプアッププラン２８
（第３次学力・体力向上３カ年計画）の推進
（２）いじめ防止の推進と早期発見・早期解決のための校内体制の確立
（３）不登校、暴力行為、虐待等の課題に対する全校的な生徒指導体制の確立
（４）障がいのある園児･児童･生徒の教育の充実
（５）生命と人権を尊重し、自他を大切に思う豊かな人間性を育む教育の推進
（６）安全・安心な学校園づくりの推進
（７）教職員の意欲・資質の向上
（８）幼稚園教育について
２．園児・児童・生徒数並びに教職員数等の推移
（１）市立幼稚園
（２）市立小学校
（３）市立中学校
３．教職員数
（１）府費負担教職員の内訳
（２）市費負担教職員の内訳
４．学校教育部主催行事一覧（教職員研修を除く）
５．使用教科用図書一覧
６．市立中学校卒業者の進路状況
７．園児・児童・生徒の健康と安全
（１）学校給食
（２）学校保健
（３）日本スポーツ振興センター災害共済給付状況
８．奨学金制度
９．就学援助制度

Ⅲ．社会教育

１．社会教育委員
２．社会教育についての努力目標
３．社会教育事業
（１）社会教育振興課年間事業一覧
（２）成人教育事業
（３）文化財
（４）公民館
４．青少年教育
（１）青少年課年間事業一覧
（２）青少年野外活動センターの事業
（３）市内の単位こども会結成の推移
（４）放課後子ども教室　登録・参加状況
（５）上中条青少年センターの利用状況

Ⅳ．その他の教育機関

１．茨木市教育センター
（１）平成 28 年度　おもな業務
（２）学校の情報化
（３）教職員研修
（４）授業力向上指導員の活動
（５）教育相談
（６）支援教育・巡回相談
（７）不登校支援
（８）学校支援人材バンク
（９）調査研究
(10)教育センターフォーラム・研究紀要
(11)相馬芳枝科学賞、科学教室
２．茨木市立図書館
（１）運営方針
（２）平成 28 年度の重点目標と主な取組
（３）利用統計
（４）蔵書（所蔵資料）統計
（５）茨木市立図書館利用指標
（６）図書館行事の状況（平成 28 年度）

Ⅴ．茨木市青少年問題協議会

１．茨木市青少年問題協議会の目的
２．平成 28 年度活動方針
（１）青少年が学び楽しむ環境の整備
（２）青少年の健やかな育成
３．青少年指導員活動の充実
４．青少年問題協議会関係事業一覧
市立教育施設所在一覧
市立学校園所在一覧
公民館所在一覧

Ⅰ．茨木市の教育行財政

1.教育委員会

（1）教育委員会の構成

職名	氏名	就任
教育長	岡田 祐一	平成28年 5月11日
教育長職務代理者	京 兼 幸 子	平成19年 1月 1日
委員	片山 正敏	平成16年12月22日
委員	篠永 安秀	平成21年10月 1日
委員	武内 由紀子	平成22年 4月 1日

（2）教育委員会事務局等の組織

平成28年7月12日現在

教育長（岡田 祐一）
　教育総務部長（乾 克文）次長（森岡 恵美子）次長（川上 成人）
　　教育政策課長（森岡 恵美子）　課長代理（吉田 透）
　　総務政策係長（小山 真季）　用度係長（吉田 透）

　　学務課長（小塩 憲司）　参事（西村 宏子）
　　課長代理（堤 義孝）　指導主事（岡田 祥一）
　　学事係長（堤 義孝）　保健給食係長（西村 宏子）

　　施設課長（有福 浩三）　課長代理（和田 雅史）
　　管理係長（和田 雅史）　施設係長（宮﨑 茂生）

　　社会教育振興課長（辻田 新一）　課長代理（浅野 貴士）　主幹（古市 暢章）
　　社会教育係長（古市 暢章）　公民館係長（浅野 貴士）
　　中央公民館長（続木 謙至）
　　文化財係長（前田 聡志）
　　文化財資料館長（前田 聡志）

　　青少年課長（小島 明美）　参事（山内 得世）　課長代理（岸田 秀夫）
　　指導主事（平家 雅史）
　　事業推進係長（山内 得世）　指導育成係長（岸田 秀夫）
　　上中条青少年センター所長（山内 得世）
　　野外活動センター所長（高橋 陽介）

　　中央図書館長（川上 成人）　参事（吉田 典子）
　　主幹（上辻 雅子）　主幹（寺田 慶次）　主幹（川越 一平）　主幹（濱口 友希）
　　主幹（永松 栄樹）
　　管理係長（永松 栄樹）　奉仕係長（上辻 雅子）　資料係長（濱口 友希）
　　中条図書館長（川越 一平）　水尾図書館長（中濱 真塩）

庄栄図書館長（寺田 慶次）　穂積図書館長（玉里 良広）

学校教育部長（小川 浩一）　次長（加藤 拓）
学校教育推進課長（加藤 拓）　参事（足立 英幸）　参事（尾﨑 和美）
課長代理（梶西 学）
指導主事（関口 直樹）　指導主事（門田 翔）指導主事（家村 憲治）
指導主事（中上 聖子）　指導主事（大池 輝暢）　指導主事（笹川 千昌）
指導主事（村上 洋子）　幼稚園指導主事（丸山 智子）幼稚園指導主事（川野 美鈴）
総務係長（雛迫 陽子）

教職員課長（青木 次郎）
課長代理（谷 周平）　主幹（牧原 貴代）
教職員係長（中條 晴喜）

教育センター所長（尾﨑 静恵）
指導主事（上村 仁師）　指導主事（村上 嘉浩）　指導主事（島田 隆史）
指導主事（長谷川 淳次）

（３）平成 28 年度 教育に関する施政方針と事業概要（市長施政方針から）

◎「次代の茨木を担う人を育むまち」について

【学校教育】

「ひとりも見捨てない全国トップレベルの教育」につきましては、３年目を迎える「茨木っ子ジャンプアッププラン２８」に基づき、中学校区ブロック連携支援教員を配置するなど、連続性と系統性を重視した茨木型保幼小中連携教育を推進するとともに、「知・徳・体」の調和のとれた子どもの育成に努め、「学び力」「ゆめ力」「自分力」「つながり力」「体力」の向上を図ります。

また、学力と保護者の意識、家庭での子育て状況等の関係性について調査・分析を行うため、保護者アンケートを実施するとともに、全国学力・体力調査の結果など、これまでの取組について詳細な検証を行い、新たな「学力・体力向上３カ年計画」の策定へとつなげます。

さらに、今後、小学校外国語活動が３年生から実施されることに伴い、外国人英語指導助手を配置するなど、小中が連携して小中学校英語教育の充実を図ります。

いじめ対策につきましては、「茨木市いじめ防止基本方針」に基づき、学校応援サポートチームを派遣して、子どもの人権を守ることを基本に、未然防止・早期発見・早期対応に努めます。

また、小・中学校業務改善プロジェクトを立ち上げ、モデル的に業務改善の取組を進めるとともに、更なるＩＣＴの活用による教育と校務の情報化を推進します。

【学校施設】

学校施設の整備につきましては、中学校の特別教室にエアコンを設置するとともに、太田中学校の増築工事を実施するほか、計画的な小・中学校の校舎の大規模改修工事を実施し、快適な教育環境の整備に努めます。

【学校給食】
学校給食につきましては、透明性の確保及び責任の明確化を図るため、小学校の給食費を公会計で運用するとともに、デリバリー方式による選択制で実施している中学校給食については、その現状を把握し、今後のあり方を検討します。
【幼稚園】
市立幼稚園につきましては、平成29年度の認定こども園化に向けた園舎の増築工事や給食室を新たに整備し、教育・保育のニーズへの対応及び環境の充実に努めます。
【図書館】
図書館につきましては、中条図書館の児童室におはなし室を増設し、子どもが本とふれあう機会の充実を図るとともに、学校と連携した子どもの読書活動の推進に取り組みます。
【社会教育】
家庭教育につきましては、家庭教育セミナーなど、学習機会を提供することにより、その役割の理解促進に努めます。
公民館活動については、市民の皆さまの学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会の提供など、その充実に努めます。
【青少年健全育成】
青少年健全育成につきましては、放課後子ども教室の実施を通じ、地域社会で子どもの豊かな成長を育むコミュニティづくりを進めるとともに、安全なインターネット利用に関する啓発活動を地域と連携し行うなど、その取組を推進します。
【文化財保護】
「歴史・文化のまち魅力の発信」につきましては、「文化振興ビジョン」に基づく諸施策を推進するとともに、千提寺菱ヶ谷遺跡の継続的な調査を行うなど、本市の豊かな歴史的資産の後世への継承とその魅力発信に取り組みます。

２．学校園施設

（１）学校園施設状況

①市立幼稚園（１３園）

幼稚園名	所在地	創立年月日	保育室	遊戯室	園地面積(㎡)		園舎面積(㎡)				
					全体	運動場	鉄筋	鉄骨	木造	その他	計
茨木幼稚園	片桐町6-25	明治26.10.18(1893.10.18)	4	1	2,170	1,270	724	0	12	0	736
福井幼稚園	東福井二丁目2-32	昭和28.4.1(1953.4.1)	2	1	2,240	1,280	0	421	6	0	427
西　幼稚園	上穂積二丁目12-13	昭和38.7.1(1963.7.1)	6	1	2,550	1,650	870	0	6	0	876
北辰幼稚園（休園中）	大字忍頂寺150	昭和41.4.1(1966.4.1)	1	0	430	-	0	169	0	0	169
北　幼稚園	安威二丁目28-16	昭和42.4.1(1967.4.1)	2	1	1,890	760	0	0	430	0	430
太田幼稚園	太田二丁目9-23	昭和47.4.1(1972.4.1)	5	1	2,600	1,040	0	0	662	0	662
水尾幼稚園	真砂二丁目3-2	昭和48.4.1(1973.4.1)	7	1	2,900	1,218	0	842	6	0	848
天王幼稚園	天王二丁目13-5	昭和48.4.1(1973.4.1)	7	1	3,380	1,106	0	833	6	0	839
玉島幼稚園	平田二丁目36-4	昭和49.4.1(1974.4.1)	5	1	2,300	1,170	0	702	8	0	710
沢池幼稚園	南春日丘三丁目2-3	昭和50.4.1(1975.4.1)	5	1	1,790	870	852	0	0	0	852
東雲幼稚園	学園南町17-33	昭和51.4.1(1976.4.1)	5	1	2,400	1,160	0	654	0	0	654
郡　幼稚園	郡山二丁目24-25	昭和54.4.1(1979.4.1)	2	1	2,330	1,390	0	477	0	0	477
庄栄幼稚園	総持寺一丁目1-17	昭和55.4.1(1980.4.1)	3	1	2,230	1,190	0	514	0	0	514
合　計			54	12	29,210	14,104	2,446	4,612	1,136	0	8,194

②市立小学校（32校）

学校名	所在地	創立年月日	教室数					校地面積（㎡）		校舎保有面積（㎡）					屋内運動場（㎡）		給食室（㎡）		プール（縦×横）（m）		
			普通	支援	特別	情報教育室	対話交流室	全体	運動場	鉄筋	鉄骨	木造	その他	計	構造	面積	構造	面積	大プール	コース	小プール
茨木小学校	片桐町8-40	明治 6. 3.18（1873.3.18）	30	1	8	1	1	10,890	4,430	6,021	97	0	152	6,270	S	670	S	136	25X13	6	13X5
春日小学校	上穂東町5-18	明治 7.10. 9（1874.10.9）	33	1	5	1	1	14,280	7,007	5,305	535	0	171	6,011	S	668	R	130	25X13	6	15X5
春日丘小学校	中穂積三丁目3-43	昭和26. 9. 1（1951.9.1）	26	1	7	1	1	13,260	6,580	5,469	140	0	192	5,801	S	679	R	144	25X15	7	20X5
三島小学校	三島町3-13	明治16. 2.20（1883.2.20）	31	1	7	1	1	17,590	7,920	6,271	196	0	111	6,578	S	701	R	137	25X12	6	Φ20
中条小学校	新中条町7-12	昭和28. 4. 1（1953.4.1）	31	1	7	1	1	14,060	6,760	5,924	146	0	171	6,241	S	661	S	152	25X13	6	15X5
玉櫛小学校	水尾三丁目1-51	明治 7. 6. 1（1874.6.1）	25	2	6	1	1	12,650	5,570	5,004	242	0	97	5,343	R	796	S	178	25X13	6	15X5
安威小学校	安威二丁目21-23	明治12.10.23（1879.10.23）	14	1	5	1	0	11,262	6,282	3,558	77	0	198	3,833	S	671	S	145	25X13	6	15X5
玉島小学校	玉島二丁目11-23	昭和10. 2.11（1935.2.11）	30	3	7	1	1	15,690	8,470	5,815	53	0	53	5,921	S	670	S	153	25X13	6	15X5
福井小学校	東福井二丁目4-20	明治 6. 7.25（1873.7.25）	15	1	6	1	1	12,585	6,531	3,760	67	0	185	4,012	S	670	R	122	25X13	6	15X5
清溪小学校	大字泉原857	明治41. 4. 1（1908.4.1）	6	1	5	1	0	12,557	6,520	2,457	200	0	31	2,688	S	672	R	101	25X11	5	15X5
忍頂寺小学校	大字忍頂寺31-2	明治40.10. 1（1907.10.1）	6	1	5	1	0	12,870	4,310	2,682	31	0	122	2,835	S	672	R	101	25X11	5	15X5
大池小学校	大池一丁目5-8	昭和39. 4. 1（1964.4.1）	33	1	7	1	1	17,490	8,970	5,919	156	0	151	6,226	S	734	S	169	25X15	7	15X5
豊川小学校	宿久庄五丁目14-5	明治32. 4. 1（1899.4.1）	19	1	6	1	1	16,310	9,110	4,416	85	0	175	4,676	S	718	R	159	25X13	6	10X5
中津小学校	中津町10-15	昭和44. 4. 1（1969.4.1）	29	1	7	1	1	9,760	4,750	5,714	137	0	164	6,015	R	764	S	254	25X11	6	10X5
東小学校	鮎川二丁目5-23	昭和45. 4. 1（1970.4.1）	32	1	7	1	1	19,075	10,355	5,962	55	0	55	6,072	S	670	S	200	25X13	6	15X5
水尾小学校	水尾四丁目7-16	昭和46. 4. 1（1971.4.1）	28	2	7	1	1	16,910	8,800	5,476	305	0	210	5,991	S	670	S	163	25X13	6	10X5
郡山小学校	新郡山二丁目30-18	昭和46.10. 1（1971.10.1）	24	1	7	1	1	21,343	8,450	4,947	99	0	209	5,255	S	670	S	165	25X13	6	15X5
太田小学校	花園一丁目21-26	昭和47. 4. 1（1972.4.1）	35	1	8	1	1	20,690	9,640	6,448	180	0	168	6,796	S	670	S	157	25X13	6	15X5
天王小学校	天王二丁目13-57	昭和48. 4. 1（1973.4.1）	33	1	7	1	1	20,699	10,630	6,177	397	0	165	6,739	S	670	S	189	25X13	6	15X5
葦原小学校	新和町13-50	昭和49. 4. 1（1974.4.1）	32	1	8	1	0	18,970	9,860	5,960	192	0	163	6,315	S	670	S	159	25X13	6	15X5
郡小学校	郡五丁目26-23	昭和50. 4. 1（1975.4.1）	16	4	5	1	1	22,000	9,330	4,053	188	0	135	4,376	S	670	S	159	25X13	6	15X5
庄栄小学校	庄二丁目26-5	昭和50. 4. 1（1975.4.1）	19	1	5	1	0	18,127	8,850	4,425	112	0	147	4,684	S	672	S	160	25X13	6	15X5
沢池小学校	南春日丘三丁目11-6	昭和51. 4. 1（1976.4.1）	30	1	7	1	1	19,800	8,360	5,647	115	0	174	5,936	S	670	S	160	25X13	6	15X5
畑田小学校	畑田町3-31	昭和53. 4. 1（1978.4.1）	16	1	6	1	1	16,248	8,348	4,136	113	0	184	4,433	S	671	S	159	25X13	6	15X5
山手台小学校	山手台四丁目9-4	昭和53. 4. 1（1978.4.1）	32	2	7	1	1	22,956	11,604	6,259	60	0	174	6,493	S	670	S	159	25X13	6	13X6
耳原小学校	耳原二丁目20-55	昭和54. 4. 1（1979.4.1）	36	2	8	1	1	20,468	10,571	6,988	61	0	171	7,220	S	670	S	160	25X13	6	15X5
穂積小学校	下穂積二丁目6-62	昭和56. 4. 1（1981.4.1）	23	1	7	1	0	18,848	8,317	4,855	67	0	184	5,106	S	672	S	161	25X13	6	15X5
白川小学校	白川一丁目4-1	昭和56. 4. 1（1981.4.1）	25	1	7	1	1	20,000	9,434	5,344	96	0	176	5,616	S	672	S	162	25X13	6	15X5
東奈良小学校	東奈良二丁目5-36	昭和57. 4. 1（1982.4.1）	24	1	7	1	0	18,153	10,049	5,463	114	0	67	5,644	S	672	S	162	25X13	6	15X5
西小学校	北春日丘三丁目12-23	昭和59. 4. 1（1984.4.1）	14	1	6	1	0	21,197	7,588	4,414	58	0	179	4,651	S	676	S	173	25X13	6	15X5
西河原小学校	西河原北町7-33	昭和59. 4. 1（1984.4.1）	16	1	6	1	1	20,546	11,951	4,394	67	0	184	4,645	S	676	S	172	25X13	6	15X5
彩都西小学校	彩都あさぎ五丁目8-1	平成16. 4. 1（2004.4.1）	36	1	7	1	0	30,997	11,160	8,339	0	0	0	8,339	R	1,042	R	266	25X13	6	15X5
合　計			799	41	210	32	23	558,281	266,507	167,602	4,441	0	4,718	176,761	－	22,199	－	5,167		－	－

③市立中学校（15校）

学校名	所在地	創立年月日	教室数				校地面積（㎡）		校舎保有面積（㎡）					屋内運動場(㎡)		プール（縦×横）(m)	
			普通	支援	特別	情報教育室	全体	運動場	鉄筋	鉄骨	木造	その他	計	構造	面積	大プール	コース
養精中学校	駅前四丁目7-60	昭和22. 4. 1 （1947.4.1）	27	1	11	1	17,860	7,750	6,442	203	138	421	7,204	S	780	25X21	6
西 中学校	見付山二丁目5-4	昭和26. 4. 1 （1951.4.1）	30	1	11	1	15,850	7,390	6,517	438	0	0	6,955	R	1,691	25X15	8
東 中学校	末広町7-4	昭和27 .4. 1 （1952.4.1）	31	1	12	1	19,210	8,720	6,495	265	64	390	7,214	S	813	25X13	6
北辰中学校（廃校）	大字泉原20-2	昭和37. 4. 1 （1962.4.1）	6	0	7	1	30,130	10,270	2,868	61	0	231	3,160	S	675	25X15	7
豊川中学校	藤の里一丁目16-8	昭和22. 4. 1 （1947.4.1）	30	2	14	1	20,490	12,180	6,597	137	0	311	7,045	S	787	25X15	7
南 中学校	若園町6-41	昭和42. 4. 1 （1967.4.1）	35	2	13	1	20,320	10,710	7,308	113	48	259	7,728	S	783	25X15	7
三島中学校	西河原一丁目17-10	昭和46. 4. 1 （1971.4.1）	33	1	12	1	20,470	10,280	6,810	229	0	283	7,322	S	792	25X15	7
北 中学校	南安威三丁目10-3	昭和49. 4. 1 （1974.4.1）	30	1	12	1	21,273	11,823	6,164	167	0	295	6,626	S	792	25X15	7
東雲中学校	学園南町21-7	昭和49. 4. 1 （1974.4.1）	27	1	10	1	22,010	9,720	6,353	78	0	304	6,735	S	791	25X15	7
天王中学校	沢良宜西三丁目8-5	昭和52. 4. 1 （1977.4.1）	26	2	11	1	19,744	10,824	6,242	166	0	374	6,782	S	792	25X15	7
西陵中学校	南春日丘一丁目19-6	昭和55. 4. 1 （1980.4.1）	30	1	13	1	22,743	9,724	6,864	202	0	300	7,366	S	792	25X15	7
平田中学校	平田一丁目8-20	昭和56. 4. 1 （1981.4.1）	19	1	10	1	22,969	13,873	5,215	126	0	327	5,668	S	792	25X15	7
北陵中学校	山手台一丁目23-10	昭和58. 4. 1 （1983.4.1）	20	1	10	1	22,807	8,429	5,351	62	0	183	5,596	S	796	25X15	7
太田中学校	花園一丁目6-10	昭和60. 4. 1 （1985.4.1）	17	1	9	1	22,847	11,725	5,363	121	0	286	5,770	S	799	25X15	7
彩都西中学校	彩都あさぎ4-6-7	平成20.4.1 （2008.4.1）	23	2	10	1	25,104	10,935	7,033	0	0	0	7,033	R	1,635	25X15	7
合　計			384	18	165	15	323,827	154,353	91,622	2,368	250	3,964	98,204	－	13,510	－	－

Ⅱ．学校園教育

１．学校園運営と教職員の意識改革について

（１）茨木っ子ジャンプアッププラン２８（第３次学力・体力向上３カ年計画）の推進

①茨木っ子ジャンプアッププラン２８（第３次学力・体力向上３カ年計画）の３年目にあたり、これまで８年間の取組みの成果や課題を検証し、平成26～28年度についての学力向上ジャンプアップ計画に則り、教育における継続的な検証改善サイクル（ＰＤＣＡサイクル）をさらに推進する。

②学力向上ジャンプアップ計画を学校教育の柱として位置づけ、組織的な学力・体力向上の取組みを推進する。

③学力向上担当者の役割を明確にし、担当者が有効に機能し、学校全体で学力向上の取組みを計画的、持続的に推進できる校内組織づくりに努める。

④中学校ブロック連携担当教員を中心に、中学校ブロックにおける保幼小中連携教育を推進する。

⑤校内の授業研究を活性化させるとともに、モデル授業やＩＣＴを効果的に活用し、「茨木っ子版授業Standard」を各教科の授業に取り入れ、児童・生徒に分かりやすい授業づくりを推進する。また、その成果を他校にも発信する。

⑥指導方法の工夫・改善定数の教員を中心に、習熟の度合いに応じたきめ細かな指導を充実させる。

⑦小・中学校専門支援員・ＳＳＷ・学習支援者を活用し、一人ひとりの児童・生徒に対するきめ細かな指導を充実させるとともに、課題のある児童・生徒及び家庭への支援を効果的に進める。

⑧「茨木っ子運動」を保育や授業の中に取り入れ、園児・児童・生徒の体づくりを進めるとともに、授業の工夫や休み時間の活用で、園児・児童・生徒の運動習慣づくり、体力向上に努める。

⑨司書教諭を中心に学校図書館支援員、ボランティアの活用と連携のもと、学習･情報センター、読書センターとしての学校図書館の機能を充実させ、中央図書館等と組織的に連携し、児童・生徒の思考力や表現力を高める取組みを推進する。

⑩全小中学校園において週休日授業を公開する「茨木っ子オープンスクール」の取組みを進める。

（２）いじめ防止の推進と早期発見・早期解決のための校内体制の確立

①いじめは重大な人権侵害事象であり、児童・生徒の生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがあることから、「いじめ防止対策推進法」（平成25年９月28日施行）や「いじめの防止等のための基本的な方針」（平成25年10月11日文部科学省大臣決定）の趣旨を踏まえて策定した「茨木市いじめ防止基本方針」及び各校の「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止のための組織を中核とする校内の協力体制を確立し、適切な対策を推進する。

②いじめについては「どの学校でも、どの子にも起こりうる」ものであることを十分認

識したうえで、相談窓口の周知や広報に努めるとともに、定期的にいじめアンケート等を実施することで迅速かつ的確な実態把握に努める。

③携帯電話、ネット上のいじめ等を重大な課題として位置づけ、校内への持ち込み禁止をはじめ、学校における情報モラル育成のための指導方針を明確にするとともに、携帯電話やスマートフォンの危険な面を認識し、過度の依存を防止するための総合的な取組みを行う。

④いじめを発見した際は、組織的な対応により確実に解決するよう努める。いじめの加害・被害の児童・生徒に対しては、スクールカウンセラーによる心理的ケアやスクールソーシャルワーカーによる福祉的支援に努めるなど、専門家を活用するとともに、教育委員会・警察・吹田子ども家庭センター等と連携し、適切な措置・対策を講ずる。

（３）不登校、暴力行為、虐待等の課題に対する全校的な生徒指導体制の確立

①児童虐待にかかる重篤な事案が後を絶たない深刻な状況であることから、児童虐待に対する認識を深め、気になる子どもに対しては、家庭訪問を積極的に行うなどして、子どもや保護者の状況の把握に努め、児童虐待の早期発見に努める。

②不登校児童・生徒に対し、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援を行い、学校復帰の実現や中学校卒業後の進路を見据えて支援を行う。

③暴力行為等の防止については、全教職員の一致協力した生徒指導体制のもと、保幼・小・中学校間をはじめ関係機関等とのネットワークを活用し、専門家や地域人材等外部人材も含めたチームによる指導・支援の取組みに努める。

④指導に当たっては、正しい子ども理解と信頼関係に基づくことが重要であり、体罰はいかなる場合においても許されないことを教職員一人ひとりに自覚させること。

⑤校内・校外の相談窓口が効果的に機能し、活用されるよう努める。

（４）障害のある園児・児童・生徒の教育の充実

①障がいのある園児・児童・生徒が地域社会の中で積極的に活動し、豊かに生きるために、「ともに学び、ともに育つ」教育を継承し、より一層発展させる。

②障がいのある園児・児童・生徒の人権が尊重される教育を推進するため、集団づくりや障がい理解教育の充実に努める。

③発達障がいを含む障がいのある全ての子ども一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実を図る。

④「支援教育コーディネーター」を中心とした「校内委員会」の機能の充実を図り、合理的配慮について適切に対応し、障がいのある園児・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行う。

⑤乳幼児期から学校卒業までを見通した一貫した支援が計画的、組織的に行われるよう、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、効果的に活用するとともに、ユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組み、組織的に教育活動を展開する。

⑥支援学校および市教育センターの巡回相談等を活用し、すべての教職員の支援教育に対する理解・啓発に努める。

（５）生命と人権を尊重し、自他を大切に思う豊かな人間性を育む教育の推進

①同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決に向けて、校内組織体制を整備して人権教育を推進する。

②幼児期から生命の尊さに気づかせ、自他を大切にする態度や人格の育成を目指した人権基礎教育に取り組む。

③人間としての基本的な倫理観や規範意識、よりよく生きようとする意欲や態度等を育成するため、「道徳の時間」を要として学校の教育活動全体を通して道徳教育を推進する。

④児童・生徒の発達段階に応じて豊かな心を育むために、小学校５年生を対象に自然宿泊体験活動、中学校では職場体験学習などの推進に努める。

⑤震災で受け入れた園児・児童・生徒に対しては、人権尊重に配慮した適切な対応と支援を行う。

（６）安全・安心な学校園づくりの推進

①地震等の災害及び万一の事件・事故に適切な対応ができるよう、各学校園において「学校安全計画」の策定および「危機管理マニュアル」の見直しを行い、それに基づく安全教育や実践的訓練を的確に行い、学校教育全体を通して安全に関係する指導の徹底を図る。

②登下校の安全については、「子ども安全見守り隊」等地域の関係団体等の協力を得て、地域と一体となった「子どもを守る大人のスクラム」の充実を図る。

③市道路交通課と茨木警察署が実施する交通安全教室を有効に活用するとともに、あらゆる場面を通して、交通ルールや自転車のマナーの徹底や交通安全意識の高揚を図る。

（７）教職員の意欲・資質の向上

①各学校の教育目標、努力目標達成に向け、「授業が（で）勝負」という意識を校内に醸成し、教員一人ひとりの授業力を向上させることができる学校体制作りに努める。

②市教委主催「学びのシンポジウム」や、教育センター主催「教育センターフォーラム」、さらに他校が実施する公開授業等に積極的に参加するなど、様々な実践から学ぶ機会を設ける。

③校園内研修の年間計画策定にあたっては、夏季休業期間等を積極的に活用する。特に、初任者をはじめとする教職経験の少ない教員の育成に配慮する。

④経験の浅い教員の授業力を高めるため、学校体制としてのＯＪＴの推進を図るとともに、市教委が派遣する授業力向上指導員を組織的に有効活用する。

（８）幼稚園教育について

①幼稚園教育の役割について

近年の核家族化や少子化・情報化・国際化など幼児を取り巻く環境が大きく変化する中、幼稚園では、幼稚園教育要領に基づき、社会情勢や保護者のニーズにも応えながら時代に即した幼稚園教育の実践に努めているところである。

幼児の発達は家庭・地域社会そして幼稚園と連続的に営まれていく生活の中で、積み重ねられる様々な経験や体験によって促されるが、近年社会情勢の変化等により、その連続性が保てない現状もあり、基本的生活習慣や他者との関係性など、発達に必要な活動を積み重ねていく幼稚園教育に、大きな責任や期待がよせられている。

また幼稚園生活の中で“遊び”を十分に確保することが何よりも必要で、それは遊びにおいて幼児が主体的な力を発揮し、生きる力の基礎ともいうべき「生きる喜び」を味わうことができるからである。幼児は能動的に対象にかかわって自己表出して、そこから外の世界に対する好奇心を育み、探索して考え、知識を蓄えるという生涯にわたる人間形成の基礎を育んでいく。

このようなことが、幼稚園教育の大きな役割であり、各幼稚園では、教員との信頼関係を基に幼児の特性をふまえ、幼児が身近な環境に働きかけ､教員とともに創りあげていく創造的な教育を求め、下記を教育内容の重点として、研究・実践を進めている。

・　幼児が自分の願いや期待をもって活動に取り組めるような、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。
・　遊びを中心とした生活を通して、幼稚園修了までに育つ「生きる力」の基礎となる心情・意欲・態度、基本的生活習慣などが身に付くようにする。
・　自我が芽生え、他者の存在を意識し、自己を抑制しようとする気持ちが生まれる幼児期の発達の特性をふまえ、健やかな成長を促す指導を行うようにする。
・　教員は、幼児の特性や可能性を生かすため、計画的に環境を構成し、活動の場面に応じて様々な役割を果たしながら一人ひとりに応じた質の高い総合的な教育ができるようにする。
・　幼児期の教育・保育を総合的に提供することを目的とした「子ども・子育て支援新制度」を踏まえ、幼稚園教育の基本を生かした子育て支援機能を活用し、「親と子が育つ場」としての幼児教育のセンター的役割を発揮する。

②市立幼稚園の教育実践について

市立幼稚園では、豊かな体験と生きる力の基礎を培うため、幼児の心身の発達特徴を理解し、地域の実態や保護者の願いを考慮しながら、各幼稚園が創意工夫して独自の教育課程を編成している。

遊びを中心とした生活を通して、教員が専門性を生かし、一人ひとりに応じた総合的な指導を行い､集団との関わりの中で、自己発揮できるよう教育にあたっている。

また、幼児が互いの人権を尊重しあえる人間として、また、思いやりと協調性に富み、相手の思いに共感できる人間として成長できるように、幼児一人ひとりの人格が尊重される集団作りに努めている。また、幼児と教員、あるいは幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるように、教員はつねに幼児の精神的な拠り所やモデルとしての

役割を果たし、教職員全員が協力して創意工夫のある教育実践を行っている。

幼児期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が、豊かに育つといわれている。幼児にとって意味のある「発達を促す遊び」は子どもをただ放っておいてもうまれてこない。

そこで、幼稚園では、幼児の発達に必要な経験や体験を見通して、教員があらかじめ、綿密な指導計画を立て、継続的な遊びが行える環境を整えている。

幼稚園の様々な遊びや活動を通して、うまく人と関われるようになったり、言語が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気づいたり、運動することが好きでスムーズに体を動かす運動能力や体力が身についたりなど、幼児期にふさわしい教育が推進されるよう、努めている。

また、茨木っ子ジャンプアッププラン２８の保幼小中連携教育の推進を受け、幼稚園から小学校への指導の流れが一貫したものとなり、幼稚園教育が小学校以降の生活や学習の基盤となるようお互いの教育の在り方について理解し、幼・小連携を図ることで、接続期の教育を適切に行い、幼稚園教育から小学校の学習へ生活や学びが連続的なものになるよう努めている。

③市立幼稚園における教職員の資質向上及び教育研究について

日々の保育の中で、教員は一人ひとりの幼児に応じた適切な指導を行うことは、幼稚園教育として大切である。幼稚園での教員との出会いは、その後の幼児の成長・発達に大きな影響を及ぼすものである。そのことをふまえ、本市教育委員会は、教員自らの資質と人格向上、専門的知識と実践的指導力の向上を図るため、教員研修を実施している。さらに、各幼稚園でも年間計画及び努力目標の達成に向けて、定期的に園内研修を実践している。

幼児の進学時における不必要な段差解消のため、本市教育委員会が中心となって中学校ブロックで保・幼・小・中連携を進めている。幼稚園においては、地域の保育所や小学校で子ども同士の交流や合同研修会、共通の課題に向けての会議を進める等の連携を行っている。

また、本市教育研究会幼稚園部においては、部員がそれぞれ３部会に分かれ、下記のテーマで研究し、実践に取り組んでいる。

幼稚園第１部会（表現）	「幼児が生き生きと表現するには」
幼稚園第２部会（言葉）	「幼児のことばをより豊かにするには」
幼稚園第３部会（環境）	「幼児がいきいきと活動できる環境とは」

２．園児・児童・生徒数並びに教職員数等の推移

（１）市立幼稚園

年度	園児数	年　間 増減数	園　数	学級数	1学級平 均園児数	教　員　数			茨木市の 人口
						男	女	計	
17	1,514	△83	14	52	29	0	67	67	266,529
18	1,460	△54	14	51	29	0	66	66	267,576
19	1,352	△108	14	48	28	0	65	65	269,850
20	1,325	△27	14	49	27	0	67	67	271,346
21	1,234	△91	14	47	26	0	63	63	273,327
22	1,152	△82	14	46	25	0	63	63	273,786
23	1,135	△17	14	44	26	0	59	59	275,002
24	1,143	8	14	44	26	0	58	58	276,411
25	1,102	△41	13	42	26	0	56	56	277,065
26	1,094	△8	13	42	26	0	55	55	278,112
27	1,057	△37	13	41	26	0	56	56	279,030
28	977	△80	13	39	25	0	55	55	279,854

（２）市立小学校

年度	児童数	年　間 増減数	学校数	学級数	1学級平 均児童数	教 職 員 数			茨木市の 人口
						男	女	計	
17	15,427	361	32	539	29	237	573	810	266,529
18	15,879	452	32	563	28	245	592	837	267,576
19	16,373	494	32	587	28	256	610	866	268,907
20	16,487	114	32	603	27	270	617	887	271,346
21	16,740	253	32	622	27	292	626	918	273,327
22	16,834	94	32	630	27	303	633	936	273,786
23	16,843	9	32	645	27	329	636	965	275,002
24	16,728	△115	32	641	27	330	628	958	276,411
25	16,586	△142	32	651	26	343	629	972	277,065
26	16,585	△1	32	653	26	346	629	975	278,112
27	16,517	△68	32	654	26	354	619	973	279,030
28	16,381	△136	32	657	25	363	618	981	279,854

（３）市立中学校

年度	生徒数	年　間	学校数	学級数	1学級平	教 職 員 数			茨木市の
		増減数			均生徒数	男	女	計	人口
17	6,732	△18	14	203	33	239	179	418	266,529
18	6,661	△71	14	202	33	234	182	416	267,576
19	6,682	21	14	205	33	238	189	427	269,850
20	6,856	174	15	213	32	247	200	447	271,346
21	7,073	217	15	220	32	247	211	458	272,327
22	7,298	225	15	231	32	261	223	484	273,786
23	7,568	270	14	242	32	265	230	495	275,002
24	7,772	204	14	248	32	265	240	505	276,411
25	7,916	144	14	265	30	288	249	537	277,065
26	7,845	△71	14	266	30	288	251	539	278,112
27	7,883	38	14	272	29	288	257	545	279,030
28	7,822	△61	14	270	29	286	255	541	279,854

３．教職員数

（１） 府費負担教職員の内訳　　（平成 28 年５月１日現在）

学校別	性 別	校長	教頭	首席 指導教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	事務職員	臨時技師	計
小学校	男	25	26	11	262	0	0	21	18	0	363
	女	7	6	18	475	36	16	35	21	4	618
中学校	男	13	13	11	208	0	0	27	14	0	286
	女	1	1	7	203	15	3	17	8	0	255
計		46	46	47	1,148	51	19	100	61	4	1,522

※再任用者を含む。
※養護教諭に養護助教諭（欠員補充）を含む。
※栄養教諭に指導栄養教諭を含む。
※事務職員に臨時主事(欠員補充)を含む。

（２） 市費負担教職員の内訳　　（平成 28 年５月１日現在）

学校別	性 別	専任園長	教 諭	校園務員	学 校 調理員	計
幼稚園	男	0	0	0	0	0
	女	12	43	0	0	55
小学校	男	0	0	16	1	17
	女	0	0	10	43	53
中学校	男	0	0	10	0	10
	女	0	0	0	0	0
計		12	43	36	44	135

４．学校教育部主催行事一覧（教職員研修を除く）

実 施 月	行　　　事	担 当 課
８　月	なかよしキャンプ やってみようキャンプ 小学校連合水泳大会	学校教育推進課 教育センター 学校教育推進課
１０ 月	小学校連合運動会 人権作品審査会（絵画・ポスター） やってみよう運動会	学校教育推進課 学校教育推進課 学校教育推進課
１１ 月	総合展 茨木市相馬芳枝科学賞 小学校連合音楽会 中学校連合音楽会 人権作品審査会（作文・詩）	学校教育推進課 教育センター 学校教育推進課 学校教育推進課 学校教育推進課
１２ 月	未来ミーティング	学校教育推進課・市民生活相談課
１　月	子ども人権フォーラム 小学校連合お話会	学校教育推進課 学校教育推進課
２　月	教育センターフォーラム	教育センター

５．使用教科用図書一覧

小学校

種　目	発 行 者	書　名
国　語	東京書籍	新編　新しい国語
書　写	光村図書出版	書写
社　会	日本文教出版	小学社会
地　図	帝国書院	楽しく学ぶ　小学生の地図帳
算　数	日本文教出版	小学算数
理　科	**啓林館**	わくわく理科
生　活	学校図書	みんなとまなぶ　しょうがっこう　せいかつ
音　楽	教育芸術社	小学校の音楽
図画工作	**日本文教出版**	図画工作
家　庭	開隆堂出版	小学校　わたしたちの家庭科
保　健	**学研教育みらい**	新・みんなの保健

中学校

種　目		発行者名	書　　　名
国　語		東京書籍	新編　新しい国語
書　写		光村図書出版	中学書写　一・二・三年
地　図		帝国書院	中学校社会科地図
社　会 地理的分野		日本文教出版	中学社会　地理的分野
社　会 歴史的分野		帝国書院	社会科　中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
社　会 公民的分野		帝国書院	社会科　中学生の公民 より良い社会をめざして
数　学		学校図書	中学校数学
理　科		東京書籍	新編　新しい科学
音　楽		教育芸術社	中学生の音楽・器楽
美　術		日本文教出版	美術１　出会いと広がり 美術2・3上　学びの深まり 美術2・3下　美の探求
保健体育		東京書籍	新編　新しい保健体育
技　術		東京書籍	新編　新しい技術・家庭 技術分野　未来を創る Technology
家　庭		開隆堂出版	技術・家庭（家庭分野）
英　語	１年	開隆堂出版	SUNSHINE ENGLISH COURSE
	2年	**三省堂**	**NEW CROWN ENGLISH SERIES NewEdition2**
	3年	**三省堂**	**NEW CROWN ENGLISH SERIES NewEdition3**

６．市立中学校卒業者の進路状況

（平成 29 年 3 月卒業）

	卒業者数	進学した生徒				就職した生徒		その他	
				定時制・通信制（再掲）					
男	**1,316**	**1,302**	**98.9%**	**48**	**3.65%**	**3**	**0.23%**	**2**	**0.15%**
女	**1,267**	**1,252**	**98.8%**	**27**	**2.13%**	**4**	**0.32%**	**4**	**0.32%**
計	**2,583**	**2,554**	**98.8%**	**75**	**2.90%**	**7**	**0.27%**	**6**	**0.23%**

７．園児・児童・生徒の健康と安全

（１）学校給食

①給食の実態

ア）対　　　象　　市立小学校児童全員(32 校　16,381 人) (平成 28 年５月１日現在)

イ）　　型　　　　週５回完全給食

ウ）給食調理員　　53 名

エ）給食の内容

ごはん　　低学年 70ｇ、中学年 80ｇ・高学年 90ｇ(精米重量として)

パ　ン　　低学年 50ｇ・中学年 60ｇ・高学年 70ｇ(小麦粉重量として)

配合(小麦粉 100 としてのパーセント比)

文部科学省基準　砂糖：油脂：脱脂粉乳＝4:4:4

（献立によりジャム・チーズ・味付け海苔等をつける。）

牛　乳　　200ml（びん入）１本

おかず　　栄養教諭等が原案を作成し、献立作成委員会において審議のうえ決定する。

オ）食物アレルギー対応の内容

市内全校で鶏卵・うずら卵の除去食を実施。

②給食による児童の栄養摂取状況

区分	ｴﾈﾙｷﾞｰ (kcal)	たん白質 (g)	ｶﾙｼｳﾑ (mg)	鉄 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食物繊維 (g)
文科省基準（平均）	640	24.0	350	3.0	170	0.40	0.40	20	5.0
茨木市（H28 年 5 月）	630	24.6	329	2.0	386	0.33	0.51	21	3.7

（２）学校保健

①茨木市学校保健会の概要

ア）学校保健の研究及び普及発達に寄与することを目的とする。

イ）組織

茨木市教育委員会教育長、市立幼・小・中学校の学校園医、学校園歯科医、学校園薬剤師、茨木市医師会保健対策委員会委員、茨木保健所長、市立幼・小・中学校園長と保健関係職員、市教育委員会保健関係職員、関係行政機関の職員で組織する。

ウ）役員

茨木市教育委員会教育長を会長とし、市教育委員会教育総務部長と市立幼・小・中学校の学校園医、学校園歯科医、学校園薬剤師、及び校園長それぞれ１人を副会長とする。

理事は茨木保健所長、茨木市医師会保健対策委員会委員と市教育委員会保健関係職員、及び市立幼・小・中学校の学校園医、学校園歯科医、学校園薬剤師と保健関係職員、関係行政機関の職員の若干人とする。

エ）役員の職務

・会長は本会を代表する。

・副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

・理事は基本的な事項を審議する。

（３）日本スポーツ振興センター災害共済給付状況 （平成 28 年度）

校園	園児･児童･生徒数（人）	給付件数（件）	給付割合%（件/人）	給付金額（円）
幼稚園	979	43	4.4	357,760
小学校	16,381	1,572	9.6	4,642,299
中学校	7,822	2,501	32.0	17,581,447

８．奨学金制度

向学心があるにもかかわらず、経済的な理由から高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校などにおける修学が困難な者に対し、学資の助成を行うものである。

・昭和 58 年から実施

・平成７年度から市民税非課税世帯の学生にも支給

・平成 15 年度から、 一人 月額　　　１０，０００円（私立学校）
　　５，０００円（国・公立学校）

・平成 18 年度から対象に特別支援学校を加え、支給額の引き上げ
　　一人 月額　　　１３，０００円（私立学校）
　　６，０００円（国・公立学校）

・平成 21 年度から、 一人 月額　　　１４，０００円（私立学校）年３回に分けて支給

・平成 22 年度から、 一人 月額　　　４，０００円（国公私立とも）
　新入学の１年生に対し入学準備金　　２０，０００円

年度	私立学校在学者		国公立学校在学者		合　　計	
	支給月額(円)	人	支給月額(円)	人	支給額(円)	人
17	10,000	125	5,000	149	22,640,000	274
18	13,000	124	6,000	200	32,345,000	324
19	13,000	114	6,000	222	32,180,000	336
20	13,000	121	6,000	219	33,063,000	340
21	14,000	136	6,000	157	32,338,000	293
22	4,000	117	4,000	145	14,262,000	262
23	4,000	107	4,000	152	13,890,000	259
24	4,000	108	4,000	148	13,900,000	256
25	4,000	105	4,000	148	13,792,000	253
26	4,000	96	4,000	146	13,124,000	242
27	4,000	80	4,000	128	11,072,000	208
28	4,000	74	4,000	123	10,716,000	197

９．就学援助制度

学校教育法第 19 条により、経済的な理由で就学困難な児童．生徒の保護者に対し義務教育を円滑に受けることができるよう、必要な援助を行うものである。

（対象者）

児童または生徒の保護者が、生活保護法第６条第２項に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる者に対して援助を行うものである。

（援助の内容）

・学用品費、通学用品費（校外活動費を含む）：毎年度、規定額
・新入学学用品費：新１年入学時、規定額
・修学旅行費：必要経費
・学校給食費：実費
・医療費：学校病（う歯、慢性副鼻腔炎、中耳炎等）として治療勧告を受けた場合の自己負担額

区　　分		学用品費 通学用品費 校外活動費	新入学学用品費	修学旅行費	学校給食費
小学校	１　年	12,990	20,470	23,017	42,433
	その他	15,220	－－－－		
中学校	１　年	24,590	23,550	53,089	2,500
	その他	26,820	－－－－		

◎山地部児童・生徒通学費補助制度

通学距離及び安全面から、バス通学することについて当該校の校長が許可した児童・生徒のうち、通学距離が片道おおむね１.５キロメートル以上の児童等の保護者に、通学費を補助するものである。

・平成５年度から実施
・補助金の額　定期券実費額の３分の１
・年３回交付　各学期末の翌月

（平成 28 年度実績）

区　　分	小学校	中学校	合　　計
人　　数	40	1	41

Ⅲ．社会教育

１．社会教育委員

氏　　名	所　　　属
今西　幸蔵	学 識 経 験 者
田中　真由美	ＰＴＡ協 議 会
樋口　禎久	こ ど も 会 育 成 連 絡 協 議 会
髙尾　末男	体 育 協 会
小山　泰明	公 民 館 長 連 絡 協 議 会
大浦　晴子	家 庭 教 育 代 表
三川　俊樹	学 識 経 験 者
三木　　昭	人 権 啓 発 推 進 協 議 会
堀口　明彦	公 立 小 学 校 長 会

２．平成28年度 社会教育についての努力目標

高度情報化、国際化、少子高齢化などの社会の急激な変化は、人々の生き方や価値観にも大きな変化を与え、物質的な豊かさをもたらす一方で、人と人とのつながりの希薄化を浮き彫りにするなど様々な課題を生んでいる。そのような中で、市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送るとともに、多様な地域課題の解決に向けて主体的に活動して、自律的に社会に参画し、新たなコミュニティを形成することが求められている。

このような状況から、教育委員会としては、個人の要望や社会の要請をふまえたうえで、住民の自発的・主体的な学習活動や社会参加を支援する環境の醸成に努め、社会教育の推進を図らなければならない。それによって、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習の機会を得ることができ、その成果を適切に活かすことのできる生涯学習社会の構築へとつながるのである。

具体的には、様々な機会や場所を利用して生活に応じた文化的教養を高められるような環境の醸成や、多様な需要をふまえた適切な学習機会の提供及び奨励、そして、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互の連携及び協力の促進に努めることが必要であり、下記のとおりの取り組みを行う。

まず、成人教育については、家庭教育、人権教育、指導者研修などの各種講座を幅広い年齢層を対象に開催し、参加者に家庭教育や人権教育に対する認識を深められるよう取り組む。

特に人権教育については、人権文化の創造のため、市民のすべてに豊かな人権感覚を育むことができるよう、「茨木市人権教育基本方針」・「茨木市人権教育推進プラン」の趣旨を踏まえながら取り組む。

公民館については、地域活動の拠点施設として広く利用を促進し、コミュニティの醸成を図り、地域の自主的な運営への機運を高めるとともに、地域課題や現代的課題等の解決に必要な機会の提供を行うなど、更なる公民館活動の充実を図る。

文化財の保存と活用については、本市の歴史的特性等を踏まえ、多様な文化財の保存・活用施策を推進する。

青少年教育については、青少年センター・青少年野外活動センターを活用し、「いま伸びよう　茨木の未来をひらく青少年」の標語に基づいた青少年健全育成運動を全市域において展開することによって、青少年に「生きる力」・「豊かな人間性」などの育成を図る。

図書館については、「本が好きなまち・茨木」をめざし、あらゆる年齢層の市民が自由に知識を習得する社会教育施設としての役割を果たすため、「市民の暮らしに役立ち、誰もが気軽に利用できる親しみやすい魅力ある図書館」を目標に、図書館サービス及び資料の整備充実を図る。

また、文化・生涯学習及びスポーツについては、社会教育を構成する重要な項目であるという認識のもと、引き続き市長部局の担当課とも十分に連携して取組みを行う。

文化施策については、その方向性を示した「文化振興ビジョン」に基づき、推進体制を整え、市民の各種文化活動を支援し、歴史・伝統文化資源の保存・継承を行う。

生涯学習については、主体的な活動を支援し、市民ニーズに即した生涯学習センター事業の充実を図る。

また、スポーツについては、市民みんなが楽しめる活動を推進するための計画を策定し、生涯スポーツ社会の実現に向けた施策を推進する。

３．社会教育事業

（１）社会教育振興課年間事業一覧

月	社会教育振興課関係行事
4	沢良宜識字・日本語教室開講（～3 月）
	親学習支援者フォローアップ研修（28 日、8月 26 日、3月 10 日）
5	家庭教育学級開設（24 学級委託）（5 月 1 日、6 月 1 日）
	家庭教育学級指導者研修会（16 日・30 日）
	豊川識字・日本語教室開講（～3 月）
	総持寺識字・日本語教室開講（～3 月）
	文化財資料館第 18 回企画展「発掘された文字-市域出土の墨書土器・刻書土器・硯-」（18 日～7 月 18 日）
	文化財資料館古文書教室講座（全 20 回）（12 日～3 月 23 日）
	文化財資料館運営審議会（23 日）
	日本語読み書き学級開講（～3 月）
6	親まなびおでかけ講座（2 日～2 月 24 日）
7	民謡踊り講習会（4 日）
	文化財資料館郷土史教室（全8回）（16 日～2 月 18 日）
	文化財資料館夏休み体験学習講座（21 日～22 日）
	第 1 回社会教育委員の会議（21 日）
8	教員初任者研修（3 日）

月	社会教育振興課関係行事
	博物館実習（1日～6 日）
	文化財資料館コーナー展「発掘された日本列島 2015 里帰り展−東奈良遺跡ってすごい！−」(3 日～9 月 5 日）
10	文化財資料館第 33 回テーマ展「絵図で楽しむ茨木−江戸時代の村を巡る−」(8 日～12 月 12 日）
	文化財資料館コーナー展「府立福井高校に眠る遺跡-西福井遺跡の調査成果-」(8 日～12 月 5 日）
	中央公民館運営審議会（20 日）
	国史跡郡山宿本陣秋の特別公開（22 日～30 日）
	社会教育関係団体等リーダー研修会（10 日・14 日）
	郷土民俗資料展「茨木の村々-その伝承-」(25 日～27 日）
	保護者のための講座（28 日・12 月 1 日）
12	家庭教育セミナー（8 日・15 日）
1	第 69 回成人祭（9 日）
	文化財資料館「ちょっと昔のいばらき」展（11 日～3 月 20 日）
２	キリシタン遺物史料館第 8 回企画展「天使讃仰図-祈りをささげる-」(1 日～3 月 27 日）
	PTA 大会（4 日）
	青年による人権啓発事業講演会（11 日）
	文化財資料館ミニ展示「おひな様」(15 日～3 月 13 日）
	国史跡郡山宿本陣春の特別公開（4 日～12 日）
	文化財資料館コーナー展「掘りたてホヤホヤ-発掘速報展いばらき 2016-part1」(29 日～4 月 17 日）

（２）成人教育事業

学習の成果を地域社会の連帯や自己の向上に役立てていただけるよう、家庭教育セミナー、保護者のための講座、社会教育関係団体等リーダー研修会、民謡踊り講習会等を開催するとともに、家庭教育学級を開設している。

①社会教育関係団体等リーダー研修会

社会教育関係団体等のリーダーを対象として、団体の活動推進のため開催し、主に人権問題に関する研修会を開催し、人権啓発にも努めている。

②家庭教育学級

児童をもつ保護者が、家庭教育の重要性を認識し、家庭教育において子どもの育成をはかるための必要な知識と技能を高めるため、また家庭生活の向上のために学習活動を展開している。

③親まなびおでかけ講座

すべての親が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域人材を活用した、対話や交流を通して親のあり方を学ぶ「親まなびおでかけ講座」の充実に努め、家庭や地域の教育力の向上を図っている。

（３） 文化財

「茨木市文化財保護条例」をもとに、文化財についての調査・保護をより一層はかるとともに、すべての市民が文化財に親しみ、その意義を理解し、郷土の誇りとして愛着が持てるように啓発に努めている。

文化財資料館では、発掘調査で発見された土器などの遺物をはじめ、古文書や民俗資料を中心に、解説パネルなどもまじえて、郷土茨木の歴史を俯瞰する常設展示室を設けている。また、毎年開催しているテーマ展をはじめ、郷土茨木にまつわるテーマの各種企画展も実施している。このほかにも、市民を対象とした郷土史教室や古文書教室、講演会などの開催、また、小学校の団体見学の受け入れや子どもたちのための体験学習講座のほか生涯学習出前講座において職員を派遣するなど市内に残された文化財の保存と活用に努め、市民の歴史に対する意識の高揚に努めている。（平成 28 年度入館者数 11,645 人）

また、貴重なキリシタン遺物の保存と公開を目的とした千提寺の「キリシタン遺物史料館」にも、市内外からの見学者が数多く来館している。（平成 28 年度入館者数　6,292 人）

一方、東奈良遺跡をはじめとする埋蔵文化財の発掘調査を行い、そこから出土した土器や石器などの遺物の整理作業も進めるとともに、その保存と活用を図るため、遺跡情報管理システムを構築、活用している。

国史跡の郡山宿本陣（椿の本陣）では、年間を通しての一般公開のほか、年２回の特別公開を実施している。（平成 28 年度入場者数　4,075 人）

① 茨木市指定文化財

「茨木市文化財保護条例」に基づき、現在、茨木市指定文化財として有形文化財 36 件史跡 2 件の計 38 件を指定している。

有形文化財（36 件）　　　　　　　　　　　　　　　　　平成 29 年 3 月 31 日現在

種　別		名　　称	員数	所　在　地	所有者	指定年月日
	①	ひらえんはんにくぼり し じゅうきょう 平縁半肉刻四獣鏡	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	茨木市	H9.9.1
考古 資料	②	しゃえんはんにくぼりいっせん ご じゅうたいきょう 斜縁半肉刻一仙五獣帯鏡	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	茨木市	H9.9.1
	③	土偶	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	茨木市	H12.5.1
	④	人面付土器	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	茨木市	H12.5.1
	⑤	壺（弥生前期土器）	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	茨木市	H12.5.1
	⑥	壺（弥生前期土器）	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	茨木市	H12.5.1
考古 資料	⑦	とうしんそ 塔心礎	1	蔵垣内三丁目	万福寺	H13.6.1
	⑧	つけたり ぜつ 小銅鐸　附　舌	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	茨木市	H17.5.1

彫 刻	①	木造 毘沙門天立像	1	安威三丁目	大念寺	H10.4.1
	②	天正二年銘磨崖仏（まがいぶつ）	1	大字上音羽	個人	H22.6.1
絵 画	①	紙本著色（しほんちゃくしょく） 総持寺縁起絵巻 附 北向雲竹添書（きたむきうんちくそえがき）	2	中総持寺町	常称寺	H11.5.1
	②	紙本著色 総持寺縁起絵巻	1	総持寺一丁目	総持寺	H11.5.1
	③	聖母子画像 付 厨子・書簡断簡	3	大字千提寺	個 人	H11.5.1
建造物	①	大岩八幡神社 五輪塔	1	大字大岩	大岩 八幡神社	H10.4.1
	②	総持寺（本堂・薬師金堂・仁王門・如来荒神堂・宝蔵・鎮守社・東門・庫裏・鐘楼）付 棟札・宮殿形厨子	9	総持寺一丁目	総持寺	H28.5.26
書 跡	①	観音縁起	1	総持寺一丁目	総持寺	H11.5.1
古文書	①	池上家文書	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	個 人	H10.4.1
	②	織田信長朱印状	1	大字忍頂寺	忍頂寺	H11.5.1
	③	椿の本陣文書	1	宿川原町	個人	H19.10.1
歴史 資料	①	あけずの櫃（ひつ）内 キリシタン遺物一式	16	大字千提寺 262 番地 （茨木市立キリシタン遺物史料館）	個人	H11.5.1
	②	総持寺瓦窯（がよう）跡	2	総持寺一丁目	総持寺	H22.6.1
工芸品	①	慶長十五年銘（めい） キリシタン墓碑	1	大字下音羽	高雲寺	H10.4.1
	②	慶長十八年銘 キリシタン墓碑	1	大字下音羽	高雲寺	H10.4.1
	③	慶長年銘キリシタン墓碑	1	大字下音羽	個 人	H10.4.1
	④	慶長八年銘 キリシタン墓碑	1	大字千提寺	個 人	H10.4.1

	⑤	円頭（えんとう）キリシタン墓碑	1	大字千提寺	個　人	H10.4.1
	⑥	慶長六年銘 キリシタン墓碑	1	大字千提寺	個　人	H10.4.1
	⑦	ジシピリナ（苦業の鞭）	1	大字千提寺	個　人	H11.5.1
	⑧	真鍮製キリスト磔刑（たっけい）十字架	1	大字千提寺	個　人	H11.5.1
	⑨	布製メダル	1	大字千提寺	個　人	H11.5.1
	⑩	ロレートの聖母浮彫像 及び　木製櫃	2	大字千提寺	個　人	H11.5.1
	⑪	教皇クレメンス8世像 メダル	1	大字千提寺	個　人	H11.5.1
	⑫	和時計	1	宿川原町	個　人	H11.5.1
	⑬	火縄式銃砲（大狭間（はざま）筒）	9	宿川原町	個　人	H11.5.1
	⑭	天正九年銘十三仏板碑（じゅうさんぶついたび）	1	大字桑原	地福寺	H12.5.1
	⑮	天正八年銘六地蔵板碑	1	大字桑原	地福寺	H12.5.1

史跡・名勝・天然記念物　（２件）

種　別		名　　称	員数	所　在　地	所有者	指定年月日
史跡	①	安威1号墳	1	山手台一丁目	茨木市	H10.4.1
	②	安威0号墳	1	大字安威	茨木市	H10.4.1

②国・府指定（登録）文化財

ア）文化財保護法による指定文化財　　　　　　平成 29 年 3 月 31 日現在 計 33 件

種 別	名　　称	員数	所　在　地	所有者	指定年月日
特別天然記念物	オオサンショウウオ	－	－	－	S27.3.29
史　跡	郡山宿本陣	1	宿川原町	土地(国) 建物(個人)	S23.12.18
	阿武山古墳	1	大字安威	茨木市安威生産森林組合他	S58.8.30
国　宝 （工芸品）	太刀 銘 熊野三所権現長光	1	市内	法人	S27.11.22
	短刀 無銘 正宗 （名物庖丁正宗）	1	市内	法人	S27.11.22
重要 文化財 （工芸品）	石燈籠	1	春日五丁目	春日神社	S38.7.1
	太刀 銘 守家	1	市内	法人	S25.8.29
	太刀 銘 備州長船住長義	1	市内	法人	S25.8.29
	太刀 銘 順慶	1	市内	法人	S25.8.29
	太刀 銘 備前国長船住兼光	1	市内	法人	S25.8.29
	太刀 銘 貞繼	1	市内	法人	S25.8.29
	太刀 銘 秀近	1	市内	法人	S25.8.29
	太刀 銘 真守	1	市内	法人	S28.11.14
	太刀 銘 助宗	1	市内	法人	S25.8.29
	太刀 銘 守利	1	市内	法人	S35.6.9
	短刀 銘 来國光	1	市内	法人	S28.3.31
	短刀 銘 則重	1	市内	法人	S25.8.29
	短刀 銘 国俊 （名物愛染国俊）	1	市内	法人	S25.8.29

	短刀 銘 左筑州住 （名物小夜左文字）	1	市内	法人	S27.7.19
	短刀 銘 左 筑州住	1	市内	法人	S25.8.29
	刀 無銘 伝秋廣	1	市内	法人	S36.2.17
	刀 金象嵌銘 則重磨上之本阿	1	市内	法人	S36.2.17
	刀 折返銘 備州長船住元重	1	市内	法人	S27.3.29
	刀 無銘 光忠	1	市内	法人	S27.3.29
	刀 無銘 伝貞宗	1	市内	法人	S27.3.29
	刀 折返銘 □行平作	1	市内	法人	S32.2.29
	刀 銘 国廣	1	市内	法人	S27.7.19
	刀 無銘 吉岡一文字	1	市内	法人	S35.6.9
	刀 無銘 伝行光	1	市内	法人	S32.2.19
	蕨手刀子	1	市内	法人	S51.6.5
重要 文化財 （考古資料）	摂津東奈良遺跡出土鎔笵（ようはん）関係遺物				
	銅鐸鎔笵残欠共（どうたくようはんざんけつとも） 銅戈（どうか）鎔笵残欠共 勾玉（まがたま）鎔笵残欠共 附 羽口残欠共	35 3 4 一括	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	国	S58.6.1
重要 文化財 （彫刻）	木造如意輪観音坐像	1	大字大門寺	大門寺	S62.6.6
	木造四天王立像	4			

イ）文化財保護法による登録文化財　　　　　　　平成 29 年 3 月 31 日現在　 計３件

名　　称	所　在　地	所有者	登録年月日
免山篤家住宅	大字佐保	個　人	H12.12.4
川本家住宅	上泉町	個　人	H26.4.25
真宗大谷派 茨木別院	別院町	茨木別院	H28.11.29

ウ）大阪府文化財保護条例による指定文化財　　　平成 29 年 3 月 31 日現在　 計 12 件

種　別	名　　称	員数	所　在　地	所有者	指定年月日
史　跡	海北塚古墳	1	西福井一丁目	個　人	S45.12.7
有形文化財 （工芸品）	厨子入象牙彫 キリスト磔刑像	1	大字下音羽	個　人	S47.3.31
有形文化財 （考古資料）	佐保の石槽（せきそう）	2	大字佐保字馬場谷 大字佐保字広田	阪急電鉄 株式会社	S49.3.29
天然記念物	乾邸のいちょう	1	安威二丁目	個　人	S50.3.31
有形文化財 （建造物）	忍頂寺石造五輪塔	1	大字忍頂寺	忍頂寺	S53.8.4
有形文化財 （建造物）	地福寺　石造五重塔	1	大字桑原	地福寺	S56.6.1
有形文化財 （彫刻）	蓮花寺 木造地蔵菩薩立像	1	天王二丁目	蓮花寺	S56.6.1
有形文化財 （彫刻）	蓮花寺 木造十一面観音立像	1	天王二丁目	蓮花寺	S56.6.1
史　跡	耳原古墳	1	耳原三丁目	帝　人 株式会社	H6.12.12
有形文化財 （考古資料）	銭原の石槽	1	大字銭原	個　人	H6.12.12
史　跡	紫金山古墳	1	室山一丁目	大阪府	H14.1.29
有形文化財 （絵　画）	紙本著色 マリア十五玄義図	1	東奈良三丁目 12 番 18 号 （茨木市立文化財資料館）	個人	H18.1.20

（４）公民館

公民館では、社会教育活動の実践拠点として、教養の向上や文化の振興等のための市民の主体的な学習活動を支援するとともに、地域の実情に応じた多様な学習機会の提供に努めている。

特に、社会の要請に対応した取り組みや地域における課題について、地域と連携し分析しながら、その解決あるいは実現に必要な機会の提供に努めている。

また、公民館施設については、利用者が安全で快適に施設利用が出来るように、建物設備の長寿命化の考えに基づき、適正な維持管理に努めている。

さらに、地域が抱える課題の対応など「地域の拠点」としての役割が公民館には求められており、施設の管理について、公民館よりコミュニティセンターの方がよりその役割を果たすことできると考え、地域の理解を得ながら公民館のコミュニティセンター化を進めている。

①中 央 公 民 館

市民の主体的な学習活動の促進を図り、市民意識の高揚と社会教育の振興に努めており、事業としては、社会教育の視点に立った日本語読み書き学級を行っている。

また、各小学校区公民館において様々な事業を進めていく中で、連絡調整等の役割を担っている。

②小学校区公民館

小学校区公民館設置数は 32 館（うち、施設のある公民館は 18 館）で、それぞれの住民の多種多様な要望を踏まえ、地域の実態に対応した事業を企画立案し、公民館主催の事業として、講座、講習会、講演会、生活教育講座を実施するとともに、現代的課題・地域課題の解決に向けた取り組みとして、子ども読書活動推進計画に基づく読み聞かせや歴史、消費者教育等の取り組みなど各公民館で実施及び検討を進めている。

また、公民館区内の地域団体主催の事業である文化展（祭）、ふるさとまつり、地域レクリエーション事業、館報発行等の諸事業の支援を行い、学習活動の推進と住民相互の交流に努めている。

平成28年度　公民館利用状況

月	数	公民館																			計
		茨木	春日丘	中条	玉櫛	安威	玉島	福井	清溪	見山	石河	太田	太田分館	天王	郡山	沢池	山手台	耳原	白川	西	
年間合計	件	1,971	1,524	1,899	2,045	1,048	1,528	993	151	127	92	2,462	1,138	1,812	1,068	610	1,551	1,302	2,252	991	24,564
	人	29,504	17,660	28,358	27,164	14,345	21,300	12,984	1,782	1,140	1,071	35,399	16,006	22,117	15,162	7,053	22,716	15,768	32,740	13,109	335,378
月平均	件	164.3	127.0	158.3	170.4	87.3	127.3	82.8	12.6	10.6	7.7	205.2	94.8	151.0	89.0	50.8	129.3	108.5	187.7	82.6	2,047.0
	人	2,458.7	1,471.7	2,363.2	2,263.7	1,195.4	1,775.0	1,082.0	148.5	95.0	89.3	2,949.9	1,333.8	1,843.1	1,263.5	587.8	1,893.0	1,314.0	2,728.3	1,092.4	27,948.2

４．青少年教育

「いま伸びよう　茨木の未来をひらく青少年」の標語に基づいた青少年育成を全市域で展開するとともに、青少年野外活動センター、上中条青少年センター等において、生涯学習する力を身につけ、２１世紀をたくましく生きる力と豊かな人権感覚や、ボランティア精神にみちた青少年を育成している。

（１）青少年課年間事業一覧(平成28年度)

月	事　業　名
4	・こども会活動説明会 ・こども会キックベースボール実技講習会 ・青少年野外活動センター日帰り利用開始(3月～)
5	・青少年野外活動センター宿泊利用開始 ・キャンプカウンセラー養成研修会
6	・ふれあいコンサート ・ミキシング講習会
7	・こども会親善スポーツ中央大会 ・茨木神社夏まつり巡回街頭指導 ・茨木フェスティバル巡回街頭指導 ・「深夜はいかい」等防止巡回街頭指導 ・小豆島町とのこども交流事業「しょうどしまオリーブキャンプ」 ・青少年問題協議会 ・青少年問題協議会専門部会
8	・小豆島町とのこども交流事業「いばらきフレンドリーキャンプ」 ・弁天宗花火大会巡回街頭指導 ・「深夜はいかい」等防止巡回街頭指導 ・ミキシング講習会 ・ふれあい観劇会
9	・青少年問題協議会専門部会
10	・こども会育成者・指導者研修会(百人一首カルタ)
11	・青少年健全育成強調月間 ・「中学生の主張」発表大会
12	・こども会冬の行事お手伝い援助活動 ・青少年問題協議会専門部会
1	・こども会親善百人一首カルタ競技大会 ・こども会五色百人一首カルタ体験会 ・青少年問題協議会 ・青少年センターフェスタ
2	・青少年健全育成演奏会

	・ふれあいコンサート
３	・キャンプカウンセラー春期研修会 ・青少年健全育成研修会 ・平成27年度茨木市青少年健全育成運動重点目標リーフレット発行
随時	・子どもセミナー(年間45回実施) ・中学校区ごとの「教育問題懇談会」 ・中学校区青少年健全育成大会

（２） 青少年野外活動センターの事業(平成28年度)

	名　称	目　　的	参加延数
主催キャンプ	ジュニアリーダー研修会	単位こども会において活動している小学６年生が、３泊４日のキャンプを含め年３回の研修を行い、こども会のリーダーとしての資質を身につける。	456人
	中学生リーダーキャンプ	前年度実施した「ジュニアリーダー研修会」の修了生、及び小豆島町教育委員会から推薦された中学１年生が５泊６日のキャンプを通じて中学生リーダーとしての資質を身につける。	215人
	高校生リーダーキャンプ	「中学生リーダーキャンプ」を修了した高校生が、３泊４日のキャンプスタッフを経験することにより、ボランティア活動の魅力を知る。	45人
	トムソーヤキャンプ	市内在住の小学4年生が、２泊３日のキャンプを含めて年3回のつどいを通じ、仲間づくりや自然とのふれあい方を学び、豊かな心を身につける。	252人
	いばらきフレンドリーキャンプ (小豆島町との子ども交流事業)	国内姉妹都市である小豆島町の４小学校の６年生と、本市の単位こども会の子どもがキャンプ生活を通して新しい友情の輪を広げる。	321人
	なかよしキャンプ (担当課:学校教育推進課)	２泊３日のキャンプを通じて、市立中学校の支援学級在籍生徒の経験を豊かにし、お互いの心のふれあいの機会とするとともに、協力して楽しい共同生活を築く実践的な態度を育てる。	146人
	やってみよう！キャンプ (担当課:教育センター)	市立小・中学校に在籍する学校生活になじみにくい児童・生徒が、豊かな自然の中で1泊2日のキャンプ生活・集団生活を体験することにより、自立する力を身につけ、学校に適応できるきっかけとする。	10人

	親子体験ワクワクキャンプ	小学校低学年の児童が、自然の中でのキャンプ生活を行うことで、自然や野外活動に対する興味を高めると共に子どもの体験活動に対する保護者の理解を深める。	93人
	ホップステップキャンプ	小学6年生、中学1年生の子ども達が、初めて出会う人達とのグループ活動や新たな体験活動の機会を通じて、「社会を生き抜く力」を育てる。	123人
	社会人ヘルパー	青少年野外活動センターのリーダーキャンプやキャンプカウンセラー経験のある社会人等が、キャンプスタッフとして活動する。	89人
	キャンプフェスティバル	市内在住の家族又はグループを対象に、青少年野外活動センターを開放して、気軽に自然と触れあう機会とする。	1,073人
	高校生ボランティアキャンプ	市内在住又は市内の高校に通学する高校生を対象に、キャンプ場整備やテントの設営・撤収作業等を通してボランティアの精神を養う。	50人
	キャンプカウンセラー 活動紹介キャンプ	キャンプカウンセラーの家族を対象に、施設見学やプログラム体験をしてもらい、キャンプカウンセラー活動への理解を深めてもらう。	121人
こども会キャンプ		こども会に所属している小学3年生以上が、こども会単位で参加できる1泊2日のキャンプで、子どもが主人公となるキャンプをねらいとする。	1,627人
中学校キャンプ		中学校学習指導要領「特別活動」の目標を達成するため、学校行事の一つとして位置づけ、希望する市立中学校において1泊2日及び日帰りの日程で実施。	454人
小学校自然宿泊体験学習 (担当課:学校教育推進課)		市立小学校の5年生が1泊2日で自然の中での集団生活を行い、自然や文化に親しみながら人間関係や公衆道徳を学ぶ。	2,742人
その他のキャンプ		各種青少年団体等による宿泊及び日帰りキャンプ。	3,890人
合　計			11,707人

（３）こども会活動

一定の地域に居住する子どもたちが、遊びを中心とする異年齢の集団活動を通じて、創造性・協調性・実践力を養い、自ら学び自ら考えることのできる「生きる力」を身につけることをねらいとして、地域で子どもを育てるために自主的に組織されている。本市ではこども会親善スポーツ中央大会や百人一首カルタ競技会等を実施することで活動を支援している。

市内の単位こども会結成の推移

年　度	H24	H25	H26	H27	H28
こども会数	253	242	240	229	224
会員数	8,550人	8,268人	7,950人	7,483人	7,010人
加入率(%)	51.1%	49.8%	47.9%	45.3%	42.8%

※加入率は、各年度６月末現在の児童・生徒・園児在籍調査表に基づく。

（４）放課後子ども教室

放課後などに子どもたちの安心で安全な居場所を設ける事業を推進することにより、子どもの体験・交流活動の活性化を図り、地域社会全体で子どもの豊かな成長を育むコミュニティづくりを推進することを目的としている。茨木市では、地域の方々に組織していただいている実行委員会に委託し、市内全３２小学校区で実施している。

放課後子ども教室 登録・参加状況（実施３２校区）

年　度	H24	H25	H26	H27	H28
登録人数	10,278人	10,337人	10,466人	10,599人	10,730人
延べ実施日数	2,453日	2,495日	2,599日	2,672日	2,776人
延べ参加者数	243,208人	250,928人	266,185人	283,810人	309,261人

（５）上中条青少年センター

上中条青少年センターは青少年による自主的・組織的な活動を促進するために設置しており、青少年センターフェスタや子どもセミナーなど、青少年の体験・交流事業を実施している。

上中条青少年センターの利用状況

年　度	H24	H25	H26	H27	H28
利用人数	39,279人	44,525人	42,177人	39,068人	42,122人

Ⅳ．その他の教育機関

１．茨木市教育センター

（１）平成 28 年度　おもな業務

- 情報発信
  - 学校情報化
  - 茨木市教育情報ネットワーク整備・構築・運営
  - ＩＣＴ活用推進・ＩＣＴ授業デザイン推進校
  - カリキュラム資料室
- 研究研修
  - 研究
    - 所員会
      - 教育センターフォーラム
      - 情報教育
      - 理科教育
      - 言語教育
      - 支援教育
    - 茨木市相馬芳枝科学賞
    - 科学教室
    - 府教研連関係業務
  - 研修
    - 教職員研修
    - 法定研修
    - 府教センター主催の研修
- 教育相談
  - ことばの教室（言語教育相談）
  - 発達相談
  - 面接相談
  - 不登校相談
  - 「いじめホッと」電話相談・教職員相談
  - 電話教育相談
- 学校支援
  - 支援教育
    - 茨木市小中学校への就学に関する会議事務局
    - 巡回相談
    - 支援教育協力校
  - 不登校児童・生徒支援室「ふれあいルーム」
  - 授業力向上指導員派遣
  - 学校支援人材バンク
  - 庶務

（２）学校の情報化

①平成 28 年度のＩＣＴ環境整備

インターネットサーバ・インターネット回線の更新

②ＩＣＴデザイナー派遣事業　および　ＩＣＴ授業デザイン推進校事業

・ＩＣＴデザイナー派遣事業

ＩＣＴを活用した授業を支援するために派遣する。

・平成28年度　ＩＣＴ授業デザイン推進校事業
小中学校４校を「ＩＣＴ授業デザイン推進校」として、年間を通じてＩＣＴ活用の研究・普及に積極的に取り組み、その効果（研究成果）を市内に発信。
畑田小学校、彩都西小学校、西中学校、北中学校

③学校情報化担当者会　（各校１名で構成）
・定例会での情報交換と研修を行い、各校の教育情報化に役立てる。
・校務の情報化の工夫、各校の取り組み状況の交流、情報セキュリティ、情報教育、e-learning 活用による学力向上への取り組みについて研究検討を行う。

④e-learning を用いた学習
・放課後学習会の支援者の派遣
「いばらきっ子スタディ」を活用した学習会を行う学校に有償ボランティアを派遣。

（３）教職員研修
＜　校長研修　＞

研修会名	テーマ	講師	実施日
人権教育校長研修	セクシュアル・ハラスメントを防止するために	ウィメンズカウンセリング京都 フェミニストカウンセラー 周藤　由美子　氏	５月９日
情報教育校長研修会	情報モラル教育に関わって（最新の状況について）	兵庫県立大学 准教授　竹内　和雄　氏	６月14日
教育課題校長研修1	次期学習指導要領に向けた土壌作りについて	大阪樟蔭女子大学 教授　菅　正隆　氏	６月24日
校園長一日研修会	すべては子どもたちのために～輝く学校をめざして～	福山市立太成館中学校 校長　友道　健氏　氏	７月27日
支援教育校長研修	「ともに学び、ともに育つ」学校づくりをめざして	関西国際大学 教授　中尾　繁樹　氏	９月12日
教育課題校長研修2	これからの道徳教育について	文部科学省教科調査官 赤堀　博行　氏	11月24日
教育課題校長研修3	支援教育（学級設置等）について	市教育委員会指導主事	２月16日

＜　教頭研修　＞

人権教育教頭研修	人権教育をすすめる必要性	茨木市立東中学校 前校長　佐藤　弘美　氏	５月６日
情報教育教頭研修会	情報モラル教育に関わって（最新の状況について）	兵庫県立大学 准教授　竹内　和雄　氏	６月14日
教育課題教頭研修1	次期学習指導要領に向けた土壌作りについて	大阪樟蔭女子大学 教授　菅　正隆　氏	６月24日
教頭一日研修会	大阪府におけるいじめ等問題行動に対する取組みについて	大阪府教育庁 主任指導主事　小山　健治　氏	７月29日

支援教育教頭研修	「ともに学び、ともに育つ」学校づくりをめざして	関西国際大学 教授 中尾 繁樹 氏	9月12日
教育課題教頭研修2	深く考え議論する道徳の授業づくり	立命館大学 准教授 荒木 寿友 氏	11月24日
教育課題教頭研修3	支援教育(学級設置等)について	市教育委員会指導主事	2月16日

＜ 初任者研修 ＞

茨木市初任者研修開講式	茨木市の教職員として／ICT機器を用いた授業づくり／茨木っ子授業スタンダードについて	市教育委員会指導主事	4月19日
初任者宿泊研修	茨木市の地域教材を探る・自然体験学習・人間関係能力向上	青少年課・市教育研究会社会科部	8月2・3日
初任者人権研修	人権学習とフィールドワーク	茨木市職員	8月
初任者代表授業	初任者代表による公開授業・研究協議	市教育委員会指導主事	11月～2月
社会体験研修	2年目に実施(他校種体験研修等)		夏期休業中
いじめ不登校シンポジウム	事例検討とワークショップ	市教育委員会指導主事 SC SSW	1月5日
新転任人権研修	人権学習と集団づくり	市教育委員会指導主事	6月22日

＜ ミドルリーダー育成研修＞

学校づくり研修1	信頼ベースの学級ファシリテーション1	株式会社ひとまち 奥西 春美 氏	8月4日
学校づくり研修2	信頼ベースの学級ファシリテーション2	株式会社ひとまち 奥西 春美 氏	8月4日
学校づくり研修3	情報モラルを活かした授業づくり	市教育委員会指導主事	7月21日
学校づくり研修4	ICT機器活用で授業力向上	市教育委員会指導主事	7月21日
学校づくり研修5	ICT機器をプレゼンテーション力向上につながる授業づくりに活かす	市教育委員会指導主事	8月1日

＜ 事務職員研修＞

新規採用事務職員研修(茨木市開校式)	茨木市ICT機器・校務システム等、情報教育理解研修	市教育委員会指導主事	4月19日
新規採用事務職員研修(第1回)	学校事務職員実務研修	市立学校事務職員・市教育委員会指導主事	6月10日

小・中学校事務職員研修（キャリアアップ研修）	茨木市の施策について・学校事務職員としてのキャリアアップについて	市教育委員会指導主事 茨木市職員	８月 26 日
新規採用事務職員研修（第２回）	学校事務・学校財務事務	市立学校事務職員	9 月 8 日
新規採用事務職員研修（第３回）	学校事務・学校徴収金	市立学校事務職員	10 月 28 日
学校事務職員ミドルリーダー研修	「ホワイトボードミーティング」を活用した会議の進行、企画提案の方法等	株式会社ひとまち 奥西　春美　氏	10 月 25 日
新規採用事務職員研修（第４回）	学校財務事務・研修のまとめ	市立学校事務職員	2 月 7 日
学校事務職員キャリアアップ研修	「コーチング」を活用した若手育成の方法等や職場環境の改善	市立学校事務職員	2 月 14 日

分野・領域別研修

＜支援教育＞

通常学級における支援講座①	通級指導教室の実践～個に応じた支援・指導方法～	市教育委員会指導主事	6 月 23 日
通常学級における支援講座②	誤り分析から、読み書きにつまずきのある子どもへの支援	奈良県平群小学校ことばの教室 教諭　村井敏弘　氏	7 月 26 日
通常学級における支援講座③	ユニバーサルデザインを土台とした授業づくり	堺市立日置荘小学校 首席　山田　充　氏	8 月 2 日
通常学級における支援講座④	ADHD・自閉症スペクトラム障がいの子どもの理解と支援	梅花女子大学 教授　新澤　伸子　氏	8 月 5 日
通常学級における支援講座⑤	作業療法の視点から見た子どもの指導～からだの不器用さの改善～	藍野大学　医療保健学部 講師　尾藤　祥子氏	8 月 9 日
通常学級における支援講座⑥	ビジョントレーニングについて	茨木支援学校 指導教諭　槇場　政晴　氏	8 月 22 日
支援教育研修①	教育センターの教育相談と学校支援について	市教育委員会指導主事 教育センター相談員	4 月 18 日
支援教育研修②	就学相談・教育支援計画について	市教育委員会指導主事	5 月 12 日
支援教育研修③	個別の指導計画について①	市教育委員会指導主事	5 月 26 日
支援教育研修④	個別の指導計画について②	市教育委員会指導主事	6 月 9 日
支援教育研修⑤	合理的配慮について～共生社会の実現をめざして～	市教育委員会指導主事	7 月 8 日
支援教育研修⑥	通常学級にも活用できるSST①	高槻支援学校 教諭　村山　聡　氏	10 月 14 日
支援教育研修⑦	通常学級にも活用できるSST②	高槻支援学校 教諭　村山　聡　氏	11 月 25 日

支援教育研修⑧	事例検討から、生徒指導と支援教育を考える	京都府総合教育センター 後野　文雄　氏	1 月 20 日

＜児童生徒理解＞

児童生徒理解講座1	各校の情報交流	市教育委員会指導主事	5 月 24 日
児童生徒理解講座2	ペアレントトレーニング・いじめ問題への組織的な取り組みについて	市教育委員会指導主事	6 月 28 日
児童生徒理解講座3	子ども・若者自立サポート事業について／ひきこもり支援の現場から	市役所職員 茨木市子ども・若者自立支援センター　上村　喜代栄　氏	9 月 6 日
児童生徒理解講座4	アクティブに学ぶ　～保護者とのかかわり～	常磐会学園大学 教授　佐谷　力　氏	11 月 15 日
児童生徒理解講座5	怒りの理解とそのマネージメント	茨木市 SCSV　桧谷真美氏	1 月 31 日

＜教育相談＞

教育相談実技研修1	子どものや保護者の思い・課題　～福祉の視点から読み解く～	日本福祉大学 准教授　　野尻　紀恵　氏	1 月 26 日
教育相談実技研修2	課題解決へのアプローチ～次年度引継への効果的な方法も視野に入れて～	日本福祉大学 准教授　　野尻　紀恵　氏	2 月 27 日
教育相談実技研修3	アクティブに学ぶ　～保護者とのかかわり～	常磐会学園大学 教授　佐谷　力　氏	11 月 15 日

＜課題別研修＞

保護者対応研修	いじめに関する保護者間トラブルの変容～学校としてすべきこと、してはいけないこと～	大阪大学 教授　小野田　正利　氏	5 月 10 日
人権教育研修	学校における人権教育・同和教育のありかたについて	神戸親和女子大学 教授　新保　真紀子　氏	11 月 17 日
授業づくり研修1	考える子どもを育てるために～思考ツールを活用した授業づくり～	関西大学 教授　黒上　晴夫　氏	5 月 19 日
水難救助研修	水難救助	水難学会　小林　幹	5 月 15 日
救急救命講習	普通救急救命法	茨木市消防本部職員	5月 16.17.19.23 日
環境教育研修	子どもたちが地域を知り、いばらきが大好きになる環境教育	奈良教育大学 准教授　中澤　静男　氏	1 月 17 日
学びのシンポジウム全大会	ジャンプアッププラン28のまとめ	大阪大学 教授　志水　宏吉　氏	3 月 1 日

＜授業づくり＞

授業力向上研修 (国語)	物語文教材の授業づくり	大阪教育大学 教授　住田　勝氏	5 月 31 日
授業力向上研修 (国語)	説明文教材の授業づくり	大阪教育大学 教授　住田　勝氏	9 月 15 日
授業力向上研修 (国語)	国語　研究授業・研究協議（学びのシンポジウム）	市教育委員会指導主事	10 月 28 日
授業力向上研修 （算数）	算数・数学「研究授業・研究協議（学びのシンポジウム）」	松木　陽子　氏	10 月 27 日
授業力向上研修 （英語）1	英語科の授業づくり①	大阪樟蔭女子大学 教授　菅　正隆　氏	5 月 30 日
授業力向上研修 （英語）2	英語科の授業づくり②	大阪樟蔭女子大学 教授　菅　正隆　氏	9 月 23 日
授業力向上研修 （英語）3	英語科の授業づくり③	大阪樟蔭女子大学 教授　菅　正隆　氏	11 月 18 日
授業力向上研修 （外国語・英語）	英語・外国語「研究授業・研究協議（学びのシンポジウム）」	市教育委員会指導主事	10 月 27 日
学びのシンポジウム	公開保育	市教育委員会指導主事	10 月 28 日
LEEP 研修①	オリエンテーション・NET との連携（打ち合わせの方法・内容等）	太田小学校 教諭　新家　秀雄　氏	5 月 25 日
LEEP 研修②	教室英語について	太田小学校 教諭　新家　秀雄　氏 市教育委員会指導主事	6 月 24 日
LEEP 研修③	単語と表現の学習①②		7 月 26 日
LEEP 研修④	単語と表現の学習③ワークショップ・歌①		7 月 26 日
LEEP 研修⑤	歌②ワークショップ・アルファベットについて		7 月 28 日
LEEP 研修⑥	指導案打ち合わせについて		8 月 19 日
LEEP 研修⑦	他教科との関連について・絵本①②		8 月 19 日
道徳教育研修	道徳の授業について（総論）		6 月 2 日
道徳教育研修	道徳の授業について（実践）	京都産業大学　教授　柴原　弘志　氏	10 月 24 日
道徳教育研修	道徳の授業のあり方について	畿央大学　教授　島　恒生　氏	2 月 14 日
理科教育研修　第1回	小学校３，４年の理科の授業づくり	市教育委員会指導主事	5 月 18 日
理科教育研修　第2回	小学校５，６年の理科の授業づくり	市教育委員会指導主事	5 月 25 日
理科教育研修　第3回	天体の授業作りについて１（夏の星座、冬の星座）	茨木市天文観覧室 プラネタリウム職員	6 月 2 日

理科教育研修　第4回	天体の授業作りについて2（4年：月や星、6年：月と太陽）	茨木市天文観覧室 プラネタリウム職員	7 月 21 日
理科教育研修　第5回	魅力あふれる理科の授業作り1	理科教育部門所員	7 月 26 日
理科教育研修　第6回	魅力あふれる理科の授業作り2	理科教育部門所員	7 月 26 日
理科教育研修　第7回	魅力あふれる理科の授業作り3	理科教育部門所員	7 月 28 日
理科教育研修　第8回	魅力あふれる理科の授業作り4	理科教育部門所員	7 月 28 日
理科教育研修　第9回	小学校3年の理科の授業づくり（かげのでき方と太陽の光、光のせいしつ、電気で明かりをつけよう）	市教育委員会指導主事	8 月 1 日
理科教育研修 第 10 回	小学校4年の理科の授業づくり（とじこめた空気や水、ヒトの体のつくりと運動、ものの温度と体積）	市教育委員会指導主事	8 月 1 日
理科教育研修 第11回	小学校5年の理科の授業づくり（雲と天気の変化、流れる水のはたらき、ふりこのきまり）	市教育委員会指導主事	8 月 4 日
理科教育研修 第12回	小学校6年の理科の授業づくり（大地のつくりと変化、地震や火山活動からくらしを守る）	市教育委員会指導主事	8 月 4 日
理科教育研修 第13回	理科の実験における安全指導	市教育委員会指導主事	8 月 5 日
理科教育研修 第14回	小学校6年の理科の授業づくり（水よう液の性質）	市教育委員会指導主事	8 月 5 日
理科教育研修 第15回	所員による授業提案（模擬授業）（小学校編）	理科教育部門所員	8 月 22 日
理科教育研修 第16回	所員による授業提案（模擬授業）（中学校編）	理科教育部門所員	8 月 22 日
理科教育研修 第17回	所員による授業提案（小学校編）	市教育委員会指導主事	10 月 19 日
理科教育研修 第18回	小学校3年の理科の授業づくり（じしゃくのふしぎ、ものと重さ）	市教育委員会指導主事	12 月 27 日
理科教育研修 第19回	小学校4年の理科の授業づくり（もののあたたまり方、水のすがた）	市教育委員会指導主事	12 月 27 日
理科教育研修 第20回	小学校5年の理科の授業づくり（もののとけ方、電磁石のはたらき）	市教育委員会指導主事	1 月 6 日
理科教育研修 第21回	小学校6年の理科の授業づくり（てこのはたらき、発電と電気の利用）	市教育委員会指導主事	1 月 6 日
理科教育研修 第22回	所員による授業提案（中学校編）	市教育委員会指導主事	2 月 15 日

＜学校情報化研修＞

新規採用教職員 ICT 機器研修	茨木市のICT機器を活用した授業づくり・情報モラルを教えたい！	市教育委員会指導主事	4 月 19 日
タブレット活用授業づくり研修（小学校）	タブレット活用授業づくり研修（小学校）タブレット体験	市教育委員会指導主事	5 月 17 日
タブレット活用授業づくり研修（中学校）	タブレット活用授業づくり研修（中学校）タブレット体験	市教育委員会指導主事	5 月 19 日
「いばらきっ子スタディ」 e-lerning 活用研修1	「いばらきっ子スタディ」を活用した授業づくり・家庭学習のすすめ	市教育委員会指導主事	5 月 27 日
情報モラル研修1	「情報モラル」を授業で指導する上で知っておきたい授業活用事例	市教育委員会指導主事	6 月 22 日
タブレット活用授業づくり研修3（ユニバーサルデザイン）	タブレット活用授業づくり研修（ユニバーサルデザイン）タブレット体験	市教育委員会指導主事	6 月 23 日
デジタル教科書活用研修	デジタル教科書を使った、視覚支援を高める分かりやすい授業づくり	株式会社　内田洋行　担当者	7 月 6 日
ICT 機器活用研修1	ICT 機器活用研修1	市 ICT デザイナー	8 月 5 日
ICT 機器活用研修2	ICT 機器活用研修2	市 ICT デザイナー	8 月 5 日
ICT 機器活用研修3	ICT 機器活用研修3	市 ICT デザイナー	8 月 8 日
ICT 機器活用研修4	ICT 機器活用研修4	市 ICT デザイナー	8 月 8 日
CMS 研修	CMS を用いた HP の運用について①	市教育委員会指導主事	8 月 9 日
タブレット活用授業づくり研修（小学校）	タブレット活用授業づくり研修（小学校）使える授業づくり	市教育委員会指導主事	8 月 10 日
CMS 研修	CMS を用いた HP の運用について②	市教育委員会指導主事	8 月 12 日
「いばらきっ子スタディ」 e-lerning 活用研修2	「いばらきっ子スタディ」を活用した授業づくり	LINES 株式会社　担当者	8 月 23 日
学校情報化研修1	学校情報化を進めるための実践報告	市教育委員会指導主事	8 月 23 日
CMS 研修	CMS を用いた HP の運用について③	市教育委員会指導主事	8 月 24 日
タブレット活用授業づくり研修（小学校）	タブレット活用授業づくり研修（小学校）茨木市実践事例	市教育委員会指導主事	11 月 15 日
タブレット活用授業づくり研修（中学校）	タブレット活用授業づくり研修（中学校）茨木市実践事例	市教育委員会指導主事	11 月 22 日
情報モラル研修	「情報モラル」で児童・生徒につけたい力、学校として	市教育委員会指導主事	11 月 25 日
タブレット活用授業づくり研修（中学校）	タブレット活用授業づくり研修（中学校）	市教育委員会指導主事	12 月 13 日

情報モラル研修	情報モラル研修	市教育委員会指導主事	1月17日
タブレット活用授業づくり研修（ユニバーサルデザイン）	タブレット活用授業づくり研修（支援教育）	市教育委員会指導主事	1月19日
学校情報化研修（学校CIO研修）２	学校情報化研修（学校CIO研修）２	市教育委員会指導主事	1月26日
学校情報化担当者会	学校情報化担当者（学校CIO）	市教育委員会指導主事	通年

（４）授業力向上指導員の活動

初任者及び教職経験の少ない教職員を中心に、授業力や課題対応能力を高めるために、経験豊かな授業力向上指導員（ﾌﾚｯｼｭｻﾎﾟｰﾀｰ）が学校に出向き、直接指導や支援を行った。あわせて、初任者指導教員等の支援も行うことで、学校の組織的・継続的なＯＪＴの取り組みの推進を支援した。

＜訪問形態＞

ア）随時訪問
　ワンポイントサポート：短時間訪問。年間通して、複数回実施。

イ）定例訪問
　ワンアワーサポート　：授業を１コマ参観、その後ふりかえり。
　（５～６月・１～３月に実施）

エ）要請訪問
　校長からの要請によって実施　（９～３月に実施）

オ）２年目サポート
　２年目教員の研究授業・指導案の指導（１学期）

（５）教育相談

①来所・電話による教育相談

相談事業名	相談内容	予約･申込み
1.「いじめ」ホッと電話相談	＊電話による「いじめ」に関する悩み相談	実施日時　月～金曜日 午前9時 00 分～午後5時 TEL 627-5511 0120-147970
2. 電話教育相談	＊電話による教育に関する悩み相談	実施日時　月～金曜日 午前8時 45 分～午後5時 TEL 625-7830
3. 面接相談（予約制）	＊心理面の悩みについての相談（カウンセリング･プレイセラピー等）	実施日時　月～金曜日 午前8時 45 分～午後5時 TEL 626-4400
4. ことばの教室（予約制）	＊幼児を対象に言語に関する相談および指導	
5. 発達相談（予約制）	＊発達に関する相談指導（最長3年）	
6. 教職員対象の相談	＊電話または面接による相談	実施日時　月～金曜日 午前8時 45 分～午後5時 TEL 627-5511
7. 不登校相談	＊（不登校支援を参照）	

②特別教育相談一覧（医師等による相談）

相談種類	実　施　日　時	
言語教育相談	6, 7, 8, 9月に実施　年間5回	広報いばらきに掲載
面接（心理）相談	5, 7, 3月に実施　年間3回	
発達相談（LD, ADHD 等）	4～3月で実施　年間 12 回 ※発達（LD, ADHD 等）の相談については、発達相談を受けている人の中から必要に応じて実施します。	

（６）支援教育・巡回相談

巡回相談員を学期に１回派遣し、校内支援体制づくり、対象となる児童生徒の特性の把握、指導内容、指導方法に関する助言を行った。学校の希望に応じて、支援教育に関する講話を実施した。

①支援教育研究協力校

水尾小学校、郡山小学校、東雲中学校、北陵中学校

巡回相談とは別に、アドバイザーを派遣し、通常学級における支援について学校の取り組みを支援した。

（７）不登校支援

①不登校児童生徒支援室「ふれあいルーム」

ア）目標

学校に登校できない状況にある児童・生徒に対して、集団生活への適応を促し、学校生活への復帰を支援するとともに、児童・生徒の社会的自立を目指す。

ふれあいルーム時間割				
	月	火	木	金
9:30	開室･自習･自主活動タイム			
10:00	朝の会			
10:10	教科学習① 45分			
11:05	教科学習② 45分			
11:50	振り返りタイム			
12:00	昼食･フリータイム			
13:00	総合学習			
14:00	スポーツ			
14:45	そうじ			
14:50	終わりの会･振り返りタイム			
15:00	自習タイム			
16:00	閉室			

イ）プログラム

教科学習

月－①社会②数学　火－①数学②国語

木－①国語②英語　金－①英語②社会

※個人で学校のプリントや問題集などを持参する。

総合学習

理科実験・音楽・美術・家庭科（調理実習）などの実技を伴う学習や、自然観察や社会見学などの体験学習を行う。またコミュニケーション能力向上のためのワーク・ＳＳＴなども行う。

自習タイム

16 時までふれあいルームを開放する。個人で自主的に学習する時間とする。

やってみようデー

月に一度、総合の時間に、個人が主体的に自分のやりたいことを計画し、行動する日とする。

ウ）チャレンジデー（毎週水曜日）

水曜日はチャレンジデーと位置づけ、入級生は登校にチャレンジする日とする。

エ）所外活動

遠足（７月１日、10 月 27 日、２月 27 日）

ふれあい運動会（２月 16 日）

やってみようキャンプ１泊２日（８月 18 日～19 日）

②不登校に関わる相談

児童・生徒の保護者や学校からの相談について、専門の相談員が関係機関と連携を図りながら改善を目指す。

③不登校支援員（ボランティア）の派遣

ア）シャトルスタッフ　：　家庭訪問指導による支援活動

イ）ふれあいフレンド　：　別室登校の児童・生徒支援活動

（８）学校支援人材バンク

学校のさまざまな教育活動における地域人材（無償ボランティア）の活用支援

（９）調査研究

①所員会活動

大学教授等をアドバイザーに、教育センターが委嘱した所員がそれぞれのテーマで研究を行った。研究の成果については、「教育センターフォーラム」にて報告するとともに、年度末に研究内容を研究紀要として各校に配布した。

委嘱期間　平成 28 年４月１日～平成 29 年３月 31 日（月１回程度「所員会」を開催）

②内容

ア）情報教育　４名

平成 28 年度は、ＩＣＴ授業デザイン推進校の小中学校の教員が所員として、実践交流を重ねる中で市全体でのＩＣＴ活用促進と普及を図った。情報モラル教育や校務の情報化・タブレット活用について研究・実践に取り組み、公開授業やセンターフォーラムでの発信を行った。

イ）理科教育　６名

理科教育全般にわたって授業に役立つ実践的な研究を行った。６名の所員が研究授業担当と研修担当に分かれ、研究授業担当はモデル授業を提案し、研修担当は理科を担当する教職員のスキルアップの為の研修を行った。

ウ）言語教育　６名

14 中学校ブロックのうち６ブロックから１名ずつ所員を委嘱した。各ブロックで設定される外国語活動・英語教育の目標に基づいて、小中連携した外国語活動やモジュールの活用・音声指導などについて研究を行った。また、その研究内容を教育センターフォーラムで発表し、市内教職員へ発信した。

特別講師　関西大学　教授　竹内　理　氏

エ）支援教育　４名

支援教育研究協力校の教員が所員となって、通常学級における支援教育の視点を取り入れた授業づくり『授業のユニバーサルデザイン化』について研究を行った。特別支援教育アドバイザーの助言をもとに、校内支援体制のあり方や個別の指導計画・教育支援計画を含めた引継ぎシステム、支援ツールについて校内で研究・実践し教育センターフォーラムで市内に発信した。

特別支援教育アドバイザー　米田　和子　氏（ＮＰＯ法人ラヴィータ研究所長）
　　　　　　　　　　　　　石原　幸一　氏（大阪経済大学　講師）

（１０）教育センターフォーラム・研究紀要

①教育センターフォーラム　（平成 29 年２月 22 日水曜日）

学校の教職員や教育関係者等を対象とし、教育センターの調査研究の報告を行った。

参加者延べ人数　207 名

②研究紀要

教育センターでの研究・内容をまとめ、WEB 版として発行した。(研究紀要　第 202 号)

（１１）相馬芳枝科学賞、科学教室

①茨木市相馬芳枝科学賞　（表彰式：11 月５日土曜日）

茨木市内在住在学の小中学生を対象とし、自由研究の募集・表彰・展示を行った。

応募数　132 点、来場者数　467 名

②第２土曜科学教室　（８、11 月を除く毎月第２土曜日）

小学校３～６年対象、教育センター科学実験室等で実施した。

参加者延べ人数　489 名

③子どもと保護者の科学教室　（７月 31 日日曜日）

小学校３～６年の児童とその保護者を対象とし教育センターセミナー301 号室で実施した。

参加者数　77 名

２．図書館

（１）運営方針

茨木市立図書館は、中央・中条・水尾・庄栄・穂積図書館及び８つの分室・移動図書館が連携し、市民の求める資料や情報を積極的に収集し、提供することを最も重要な役割とします。

この役割を果たすため、図書館資料の整備充実を図り、迅速かつ的確な読書案内や貸出・予約サービスなどを通じて、確実な資料の提供に努めます。また、市民からの相談に応える「レファレンスサービス」にも積極的に取り組み、「市民のくらしに役立ち、誰もが気軽に利用できる親しみやすい魅力的な図書館」をめざします。

（２）平成28年度の重点目標と主な取組

① 組織的、系統的な資料の収集を図ります。

・市民の要望と関心をふまえ、市民の求める資料・情報をできる限り提供することに努めます。

・郷土・行政資料を適宜収集し保存に努めます。

② レファレンスサービスの機能充実に努めます。

・多種多様化する調査研究にも応えることができるよう、インターネット等の利用や、新聞記事・判例等の検索データベースの活用、メールでのレファレンスの受付を行います。

・府立図書館など他の図書館や関係機関と連携を図ります。

③ 市域全体で子どもの読書活動を推進します。

子どもにとって読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。第２次茨木市子ども読書活動推進計画に基づき、さまざまな取組みを行います。

・学校や関係課等と連携し、読書環境の整備、読書機会の提供を行います。

・子ども向けの行事を行い、子どもの図書館利用促進を図ります。

・子どもの読書推進に関する講座を開催し、市民の理解を深めます。

・ブックリストの作成・配布や、ホームページなどを通じて情報提供に努めます。

④ ボランティアと協働し、より多くの市民が物語やお話、本と触れ合うことができる機会の充実に努めます。
高齢者施設や図書館での朗読会の開催や読み聞かせ、読書のきっかけとなる人形劇・おもちゃづくりなど、幅広い層が参加できる行事を開催します。

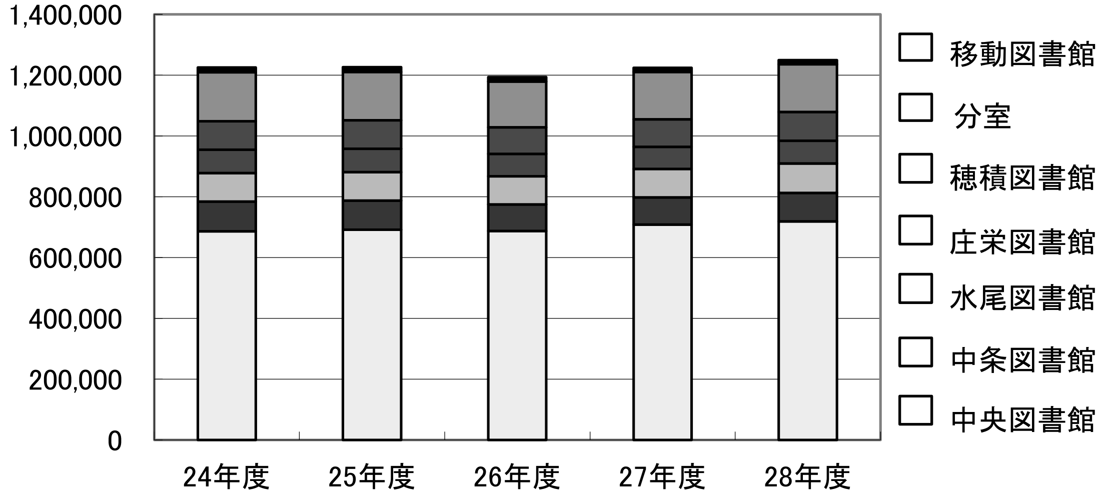
⑤　図書館の利用に障害のある方や、高齢者など読書困難者へのサービスについて研究し、拡充に努めます。
・音訳ボランティア入門講座を開催し、障害者サービスの充実を図ります。
・視覚障害に加え、発達障害や肢体の障害、高齢等により通常の活字による情報を得ることの困難な方へのサービスの拡大に努めます。

⑥　図書館からの情報発信を積極的に行い、サービスの充実を図ります。
・ホームページの充実を図り、図書館の情報を幅広く発信します。
・図書館の取り組みについて、ツイッターやフェイスブックを活用したり、リーフレットで広く広報を行います。

⑦　ＩＣＴを活用し、図書館サービスの向上に努めます。
・図書館システムの活用により、読書案内などのフロアサービスの充実を図ります。
・移動図書館の貸出・返却などの業務をオンライン化し、データの即時性を図ります。

（3）蔵書（資料所蔵）統計

①蔵書冊数の推移



（単位：冊）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
中央図書館	686,558	692,227	687,846	709,076	719,582
中条図書館	97,757	95,283	86,875	88,965	93,019
水尾図書館	93,978	94,024	93,026	93,983	97,252
庄栄図書館	76,853	76,388	73,267	72,082	74,570
穂積図書館	93,789	94,302	87,293	91,139	94,518
分　　室	161,048	158,852	151,122	155,938	156,994
移動図書館	15,993	15,731	14,740	12,927	13,780
合　　計	1,225,976	1,226,807	1,194,169	1,224,110	1,249,715

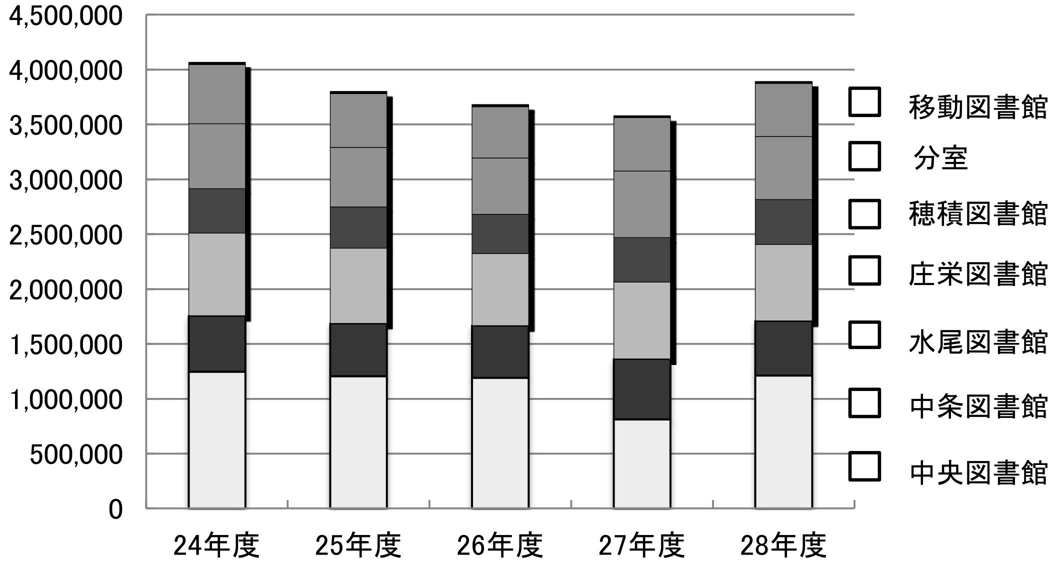
（複製絵画、CD－ROM、紙芝居、視聴覚資料、雑誌、新聞は除く。）

②分室別蔵書冊数の推移

（単位：冊）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
大池分室	20,541	20,095	18,561	19,368	19,330
豊川分室	18,582	18,359	17,147	17,573	17,477
白川分室	23,727	23,570	22,594	23,140	23,381
天王分室	19,225	17,334	15,961	16,555	16,911
玉島分室	19,516	19,573	18,768	18,993	19,270
山手台分室	18,763	18,421	18,098	19,009	19,206
太田分室	18,572	18,352	16,386	17,038	17,355
彩都西分室	22,122	23,148	23,607	24,262	24,064
合　　計	161,048	158,852	151,122	155,938	156,994

(4) 利用統計



（単位：点）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
中央図書館	1,247,132	1,204,442	1,191,201	812,314	1,211,286
中条図書館	509,237	483,438	474,236	551,524	498,498
水尾図書館	754,349	685,047	655,840	699,141	698,551
庄栄図書館	403,961	374,236	361,607	404,198	406,745
穂積図書館	592,520	544,109	513,279	607,512	575,192
分　　室	538,804	490,242	466,245	487,161	483,799
移動図書館	21,141	19,559	18,227	18,689	18,535
合　　計	4,067,144	3,801,073	3,680,635	3,580,539	3,892,606

（郵送貸出は中央に含む。ただし、平成27年10月～平成28年1月分は、中条に含む）
（団体貸出、点字・録音図書の貸出は除く）

(5) 利用指標

①利用状況（平成28年度）

人　　口	280,518 人 （平成29年3月31日現在）		分室開室日数（８分室）	延べ　1,343 日
開館日数	中央図書館	314 日	実登録人数	64,189 人
	中条図書館	304 日	貸出人数	913,184 人
	水尾図書館	304 日	貸出点数	3,892,606 点
	庄栄図書館	304 日	資料点数	1,304,344 点
	穂積図書館	304 日		

（個人貸出点数は視覚障害者用資料（録音図書・点字図書）の貸出を除く。）
（資料点数は雑誌・新聞・視覚障害者用資料（録音図書・点字図書）を除く。）

②利用指標（平成28年度）

（１）	市民１人当たり貸出点数	貸出点数 / 人　口	3,892,606 / 280,518	＝　13.9　点
（２）	登録者１人当たりの貸出点数	貸出点数 / 登録人数	3,892,606 / 64,189	＝　60.6　点
（３）	資料回転率	貸出点数（※1） / 資料点数（※2）	3,773,070 / 1,285,766	＝　2.9　回
（４）	登録率	登録人数×100 / 人　口	64,189 / 280,518	＝　22.9　%
（５）	市民１人当たり資料点数	資料点数 / 人　口	1,304,344 / 280,518	＝　4.6　点
（６）	市民１人当たり年間新規資料増加点数（視聴覚資料を含む）	年間新規増加点数 / 人　口	57,410 / 280,518	＝　0.20　点
（７）	市民１人当たり年間資料購入費	資料購入費 / 人　口	87,864,840 / 280,518	＝　313　円
（８）	図書資料購入平均単価	図書購入費 / 図書購入冊数	75,371,115 / 55,371	＝　1,361　円
（９）	職員１人当たり貸出点数	貸出点数 / 職員数（※3）	3,892,606 / 94	＝　41,499　点
(10)	職員１人当たり奉仕人口	人　口 / 職員数（※3）	280,518 / 94	＝　2,991　人

（※1）資料回転率の貸出点数は雑誌・相互貸借・視覚障害者用資料（録音図書・点字図書）の貸出を除く。

（※2）資料回転率の資料点数は、雑誌・館内閲覧資料12,774冊）、館内視聴用LD,DVD(4,944点）・視覚障害者用資料（録音図書・点字図書）を除く。

（※3）職員数は平成29年4月1日現在（臨時職員を含む）。

③利用指標の推移

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
(1)	市民1人当たり貸出点数	13.2 点	12.8 点	13.9 点
(2)	登録者1人当たりの貸出点数	52.4 点	53.6 点	60.6 点
(3)	資料回転率	2.9 回	2.8 回	2.9 回
(4)	登録率	25.2 %	23.9 %	22.9 %
(5)	市民1人当たり資料点数	4.5 点	4.6 点	4.6 点
(6)	市民1人当たり年間新規資料増加点数（視聴覚資料を含む）	0.21 点	0.21 点	0.20 点
(7)	市民1人当たり年間資料購入費	316 円	313 円	313 円
(8)	図書資料購入平均単価	1,320 円	1,339 円	1,361 円
(9)	職員1人当たり貸出点数	41,825 点	38,750 点	41,499 点
(10)	職員1人当たり奉仕人口	3,168 人	3,026 人	2,991 人

※中央図書館は、平成27年10月1日～平成28年1月31日まで、改修工事のため臨時休館

(6)行事等の状況（平成28年度）

①集会行事

事　業　名	開　催　日	内　容　・　講　師　等	回数	参加人数
おはなし会	中央･分館(月1～2回) 分室(月2回)	おはなし会ボランティア （図書館及び分室で開催）	266	4,030
	随時	おはなし会ボランティア （小学校等で開催）	105	10,374
子ども向け工作等行事	随時	各図書館	21	1,374
人形劇	11月6日	中央図書館 「かさじぞう」他	1	90
	11月20日	水尾･庄栄図書館 「ジャックと豆の木･金貨の木」他	2	170
	2月11日	中条･穂積図書館 「かえるの王子さま」他	2	152
えほんひろば	5月14日,15日	中条図書館 まちﾗｲﾌﾞﾗﾘｰBOOK FESTA参加イベント	2	97
	6月25日	イオンモール茨木 大阪府教育庁と共催 ※参加人数は概数	1	500※
	8月18日,19日	中条図書館 おはなし室オープニング記念イベント	2	139
読み聞かせ講座	7月24日	水尾図書館 「はらぺこあおむしの世界をあそぼう！」	1	25
	9月10日	中央図書館 「そらいろのたねの世界をあそぼう！」講師　土居　安子　氏	1	23
子どもの本の読書講座	9月24日	庄栄図書館 絵本づくりワークショップ 「とびだす絵本を作ろう」 講師　土居　安子　氏	1	30
	10月16日	中条図書館 「おいしい絵本をよもう」 講師　土居　安子　氏	1	26
	1月29日	中央図書館 絵本づくりワークショップ 「とびだす絵本を作ろう」 講師　土居　安子　氏	1	19
手づくり絵本展「見てさわってたのしもう！てづくりの本」	6月14日～6月19日	中央図書館 ※ワークショップ参加者数	－	161※
「みんなでつくろう！おすすめ本の木」	4月16日～5月15日	中央図書館 まちﾗｲﾌﾞﾗﾘｰBOOK FESTA参加イベント	－	171
読書会	毎月第2木曜日	読後の感想、作品･作者等について話し合う	12	63
	毎月第4金曜日		12	137

Ｖ．茨木市青少年問題協議会

１．茨木市青少年問題協議会の目的

市内における青少年の指導、育成、保護及び矯正に関係ある公私の機関の有機的統一をはかり、総合的対策を樹立するとともに、自ら青少年の保護育成活動を展開することを目的とする。

２．平成 28 年度活動方針

平成 28 年度茨木市青少年健全育成運動重点目標
大人は子どもを　ほっとかん！
～見守ろう　支えよう　子どもが育つ居場所づくり～

平成 28 年度は青少年問題協議会において青少年健全育成運動重点目標を「大人は子どもを　ほっとかん！」とし、「青少年の深夜はいかいの現状と危険性」「地域における青少年の見守りの重要性」「青少年の「居場所」としてのネット世界」に関して取り上げています。

青少年問題協議会では、以上の重点目標を提唱しており、学校・家庭・地域・青少年健全育成団体・行政機関等が、目標達成に向けての具体的な取組みを行い、青少年の健全育成に寄与するようお願いしております。

（１）青少年の教育・学習機会の充実

①「社会を生き抜く力」の養成
②命の大切さを学ぶ機会の提供
③環境を大切にする学習機会の提供
④収穫の喜びや農業の大切さを学ぶ機会の提供
⑤小中学校英語教育の育成
⑥ボランティアの育成
⑦美しいものを美しいと感じる機会の提供
⑧たくさんの本と出会う機会の提供
⑨あそび場の提供
⑩異なる文化との交流機会等の提供

（２）青少年の健やかな育成

①青少年の健全育成の推進
ア）小学校区での活動
イ）放課後子ども総合プランの推進
ウ）中学校区での活動
エ）茨木のこどもを守る運動の推進
オ）巡回街頭指導活動の推進
カ）立ち入り調査(青少年社会環境実態調査)活動

キ）薬物乱用の防止
ク）喫煙・飲酒の防止
ケ）携帯電話・スマートフォン等の使用指導
コ）啓発活動
サ）青少年団体の活動支援
シ）青少年の規範意識の向上
ス）青少年の自己表現の機会の提供
セ）子育て支援の充実
ソ）子育て相談の充実

②青少年の体験活動の充実

ア）職場体験学習、ＩＣＴ教育の推進
イ）体験や出会いを通しての人権学習の推進
ウ）こども会活動の充実
エ）青少年の活動拠点施設の機能充実
オ）高齢者・障害のある人との交流機会の提供

③若者の自立支援

ア）困難を有する子ども・若者の支援体制の整備
イ）いじめ・不登校への対策・支援
ウ）学校等での相談活動の推進
エ）子どもの貧困対策の推進

３．青少年指導員活動の充実

青少年指導員は、青少年問題協議会会長（市長）の委嘱を受け、地域社会における青少年活動の育成・指導をはじめ、社会環境の浄化活動等を行っているボランティアである。

◇青少年指導員名簿　　　　　　第 17 期分（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

<table>
<tr><th>中学
校区</th><th>小学
校区</th><th>氏 名</th><th>中学
校区</th><th>小学
校区</th><th>氏 名</th><th>中学
校区</th><th>小学
校区</th><th>氏 名</th></tr>
<tr><td rowspan="10">養精
10</td><td rowspan="3">茨木
3</td><td>吹上　千恵</td><td rowspan="10">南
14</td><td rowspan="6">玉櫛
6</td><td>雨堤　琢也</td><td rowspan="9">天王
9</td><td rowspan="3">天王
3</td><td>川西　洋子</td></tr>
<tr><td>佐坂　美香</td><td>加藤　重雄</td><td>古田 かづ美</td></tr>
<tr><td>磯部　護</td><td>保坂　美文</td><td>平子　良江</td></tr>
<tr><td rowspan="4">中条
4</td><td>西川　哲生</td><td>永易　弘子</td><td rowspan="3">東奈良
3</td><td>河田 真理子</td></tr>
<tr><td>中園 佐紀子</td><td>田栗　祥子</td><td>鶴岡 由美子</td></tr>
<tr><td>山田　香</td><td>前原　正司</td><td>出口　孝子</td></tr>
<tr><td>中島　尚美</td><td rowspan="4">水尾
4</td><td>稲垣　淳子</td><td rowspan="2">玉櫛
2</td><td>島井　幸</td></tr>
<tr><td>大池1</td><td>三橋　友紀</td><td>川堤　幸恵</td><td>加藤　順子</td></tr>
<tr><td rowspan="2">東奈良
2</td><td>古賀 ひでみ</td><td>千原　豊</td><td>葦原1</td><td>小西　勝二</td></tr>
<tr><td>平里　勝也</td><td>柳原　まゆみ</td><td>西陵</td><td>春日丘</td><td>平山　功</td></tr>
</table>

西 10	春日 4	金子　豊子		葦原 4	西本　初代	9	2	殿村　昌弘
		村井　繁光			瀧井　賢敏		沢池 2	小山　三佳
		有木　省二			田中　壮一			秋山　雅典
		松山　勝彦			須田　尚子		穂積1	中野　岳志
	春日丘 2	吉田　貢	三島 7	三島 3	野口　淳子		西 3	山口　昌孝
		織田　幹範			堤　充広			木和田　眞美
	郡 2	江原　陽子			和田　敏一			加藤　裕紀
		片桐　純子		庄栄 3	久富　福治	平田 11	大池 3	森田　稔恵
	畑田 2	橋元　浩昭			川上　さおり			大谷　学
		林　由美子			三代　由利佳			国行　礼子
東 10	茨木 3	藤谷　真砂代		西河原1	日野　典子		玉島 5	荒木　利之
		河野　勝則	北 7	安威1	大西　與晶			横関　千賀子
		岸本　悦子		福井 2	三輪　真寿美			谷本　博
	大池 4	有明　京子			杉本　麻里			齊藤　善之
		齊藤　洋一		耳原 4	髙橋　さなえ			池田　恵子
		土方　康正			下田平　裕司		中津 2	川井　悦子
		中村　元宣			邉田　厚志			鎌田　守弘
	中津 3	祇園　美幸			藤森　潔文		水尾１	榎　克己
		村上　泉						
		山本　哲也						

豊川 6	豊川 3	森脇　和也	東雲 10	東 5	福田　裕之	北陵 5	安威1	小林　洋樹
		木村　明信			水嶋　英美		忍頂寺 2	和崎　正彦
		多賀橋　加代子			森田　英子			車川　剛
	郡山 3	三好　桂子			宮本　栄利子		山手台 2	吉川　忠男
		赤木　健二			白神　淳			川村　美智子
		福山　秀子		白川 5	岩本　美津子	太田 4	太田 2	濱園　明洋
					木村　美鶴			小野　大
					中村　大吾		西河原 2	山本　浩司
					福井　龍也			長田　直美
					奥　明子	彩都 西 4	彩都西 2	西田　昌司
								福本　祥一
							清溪 2	西上　聡
								中井　勇

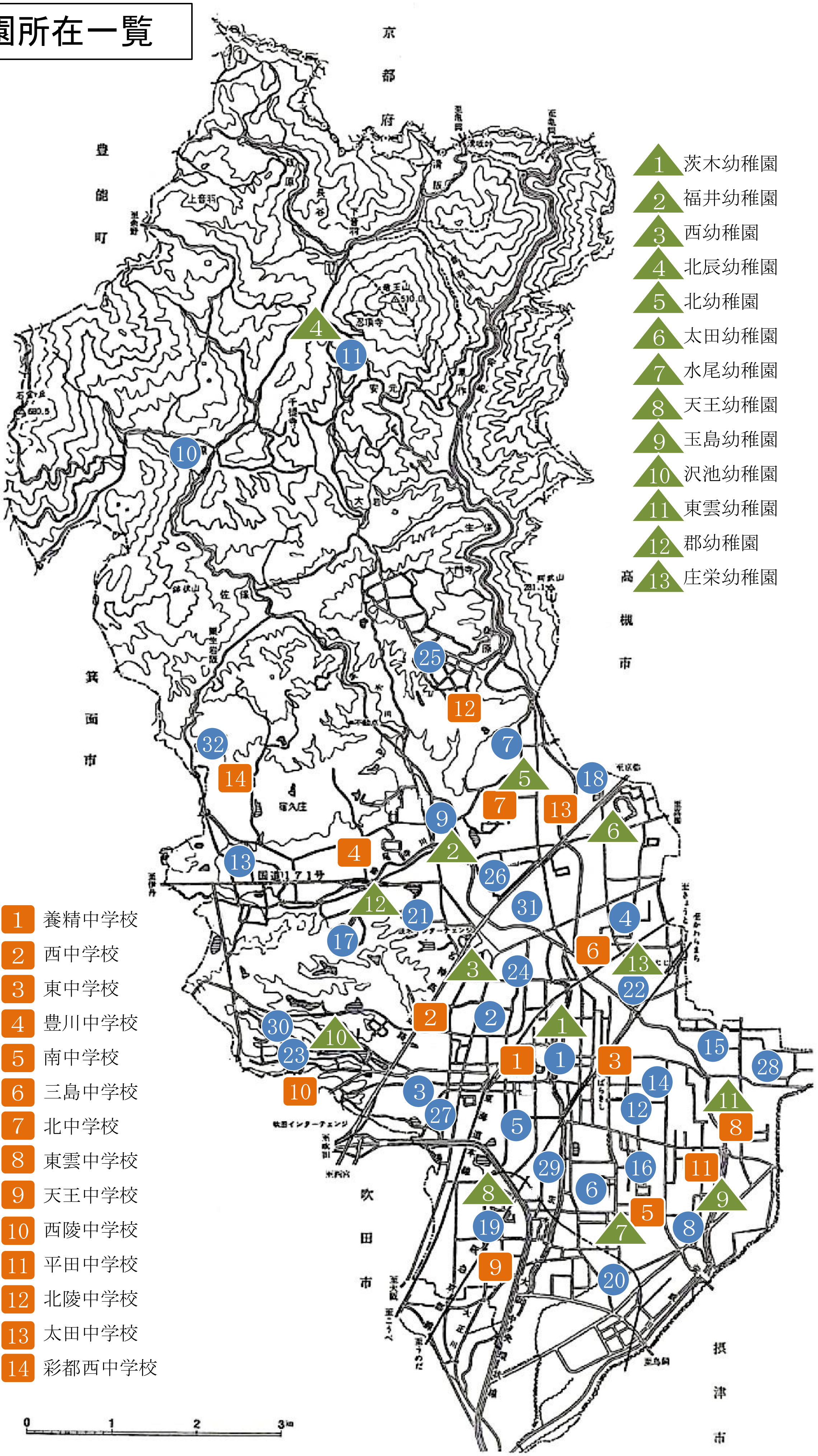
４．青少年問題協議会関係事業一覧　　　　（平成 28 年度）

月	事　業　名
7	・茨木神社夏まつり巡回街頭指導
	・「深夜はいかい」等防止巡回街頭指導
	・茨木フェスティバル巡回街頭指導
	・青少年問題協議会
	・青少年問題協議会専門部会
8	・「深夜はいかい」等防止巡回街頭指導
	・弁天宗花火大会巡回街頭指導
9	・大阪府青少年指導員連絡協議会研修会
	・青少年問題協議会専門部会
11	・青少年健全育成強調月間
	・青少年指導員連絡協議会研修会
12	・青少年問題協議会専門部会
1	・青少年問題協議会
	・平成 28 年度茨木市青少年健全育成運動重点目標を提言
2	・三島ブロック青少年指導員連絡協議会研修会
	・大阪府青少年指導員連絡協議会研修会
3	・青少年指導員連絡協議会研修会
	・青少年健全育成研修会
	・平成 28 年度茨木市青少年健全育成運動重点目標リーフレット発行
随時	・中学校区ごとの「教育問題懇談会」
	・中学校区青少年健全育成大会
	・関係団体による街頭指導
	・青少年に対する巡回街頭指導と、「深夜営業店」「シンナー等の販売業者・取り扱い業者」等への協力依頼活動
	・青少年を取り巻く社会環境の浄化活動の推進

市立教育施設所在一覧

1 生涯学習センターきらめき
2 文化財資料館
3 キリシタン遺物史料館
4 中央図書館
5 中条図書館
6 水尾図書館
7 庄栄図書館
8 穂積図書館
9 青少年野外活動センター
10 教育センター

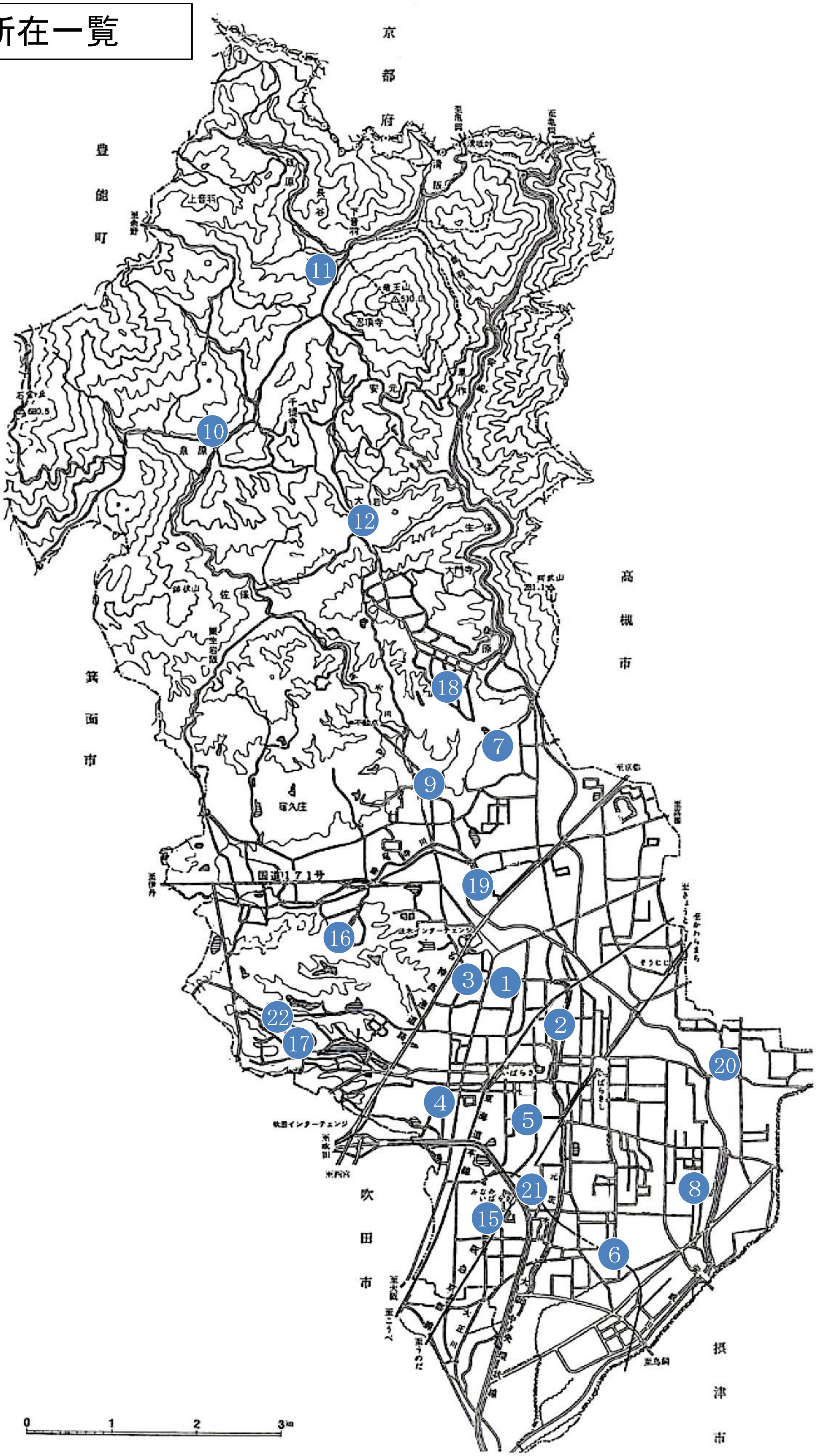
市立学校園所在一覧



1 茨木小学校
2 春日小学校
3 春日丘小学校
4 三島小学校
5 中条小学校
6 玉櫛小学校
7 安威小学校
8 玉島小学校
9 福井小学校
10 清溪小学校
11 忍頂寺小学校
12 大池小学校
13 豊川小学校
14 中津小学校
15 東小学校
16 水尾小学校
17 郡山小学校
18 太田小学校
19 天王小学校
20 葦原小学校
21 郡小学校
22 庄栄小学校
23 沢池小学校
24 畑田小学校
25 山手台小学校
26 耳原小学校
27 穂積小学校
28 白川小学校
29 東奈良小学校
30 西小学校
31 西河原小学校
32 都西小学校

1 養精中学校
2 西中学校
3 東中学校
4 豊川中学校
5 南中学校
6 三島中学校
7 北中学校
8 東雲中学校
9 天王中学校
10 西陵中学校
11 平田中学校
12 北陵中学校
13 太田中学校
14 彩都西中学校

1 茨木幼稚園
2 福井幼稚園
3 西幼稚園
4 北辰幼稚園
5 北幼稚園
6 太田幼稚園
7 水尾幼稚園
8 天王幼稚園
9 玉島幼稚園
10 沢池幼稚園
11 東雲幼稚園
12 郡幼稚園
13 庄栄幼稚園

公民館所在一覧

1 中央公民館
2 茨木公民館
3 春日公民館
4 春日丘公民館
5 中条公民館
6 玉櫛公民館
7 安威公民館
8 玉島公民館
9 福井公民館
10 清溪公民館
11 見山公民館
12 石河公民館
13 太田公民館
14 太田公民館分室
15 天王公民館
16 郡山公民館
17 沢池公民館
18 山手台公民館
19 耳原公民館
20 白川公民館
21 東奈良公民館
22 西公民館